



平成24年7月10日（火）
国土交通省関東地方整備局企画部

記者発表資料

H23年度優良工事等局長表彰について

関東地方整備局では、平成23年度に完成した工事、完了した業務の中で特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者等について、平成23年度優良工事等表彰式を下記により執り行います。

記

- 日時：平成24年7月12日（木）14時15分から
- 場所：ホテルブリランテ武蔵野 2F エメラルド
- 表彰件数及び人数：
 - 優良工事関係（対象工事件数 1,514件）
優良工事 48件（43社） ※（ ）は、重複受賞を除いた社数
優秀工事技術者 40名
安全管理優良受注者 80社
 - 優良業務関係（対象業務件数 1,752件）
優良業務 39件（27社） ※（ ）は、重複受賞を除いた社数
優秀技術者 36名
- 参考：
優良工事等の表彰開始年度、表彰回数、平成22年度表彰件数は下表のとおりです。

種 別	表彰開始年度	表彰回数（今回）	H22 表彰数
優良工事	昭和50年度	38回目	50件
優秀工事技術者	平成元年度	24回目	37名
安全管理優良受注者	平成13年度	12回目	85社
優良業務	平成3年度	22回目	47件
優秀技術者	平成3年度	22回目	44名

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・埼玉県政記者クラブ・横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

■港湾空港関係除く

所 属：国土交通省関東地方整備局 企画部

氏 名：総括技術検査官 シラト マサミ 技術管理課課長補佐 イワムラ ヒロカズ
電 話：048（601）3151 （内3117, 3315） 岩村 浩一

■港湾空港関係

所 属：国土交通省関東地方整備局 港湾空港部

氏 名：港湾整備・補償課課長補佐 ササキ トシアキ 安全企画係長 ヤマヤ ススム
電 話：045（211）7419 （内5771, 5780） 佐々木 俊明 山谷 将

平成 23 年度優良工事等の表彰について

1. 目 的

(優良工事表彰)

優良工事表彰は、関東地方整備局発注の工事を受注し、その施工が優秀であって他の模範とするに足りるものを表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(優秀工事技術者表彰)

優秀工事技術者表彰は、関東地方整備局発注の工事を担当した現場代理人及び主任（監理）技術者の中から表彰を行うことにより、技術者の誇りと資質の向上を図り、円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(安全管理優良受注者表彰)

安全管理優良受注者表彰は、安全管理に優れた受注者を表彰することにより、安全対策の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

なお、昨年度まで表彰していた「安全管理優良請負者」について、「工事請負契約書」の改正により名称を変更したものです。

(優良業務及び優秀技術者表彰)

優良業務及び優秀技術者表彰は、その成果及び業務への取り組み方が優秀であり他の模範となるものを表彰することにより、技術力の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

2. 選定方法

優良工事等の選定は、関東地方整備局及び管内の 52 事務所から推薦された河川、道路、営繕、港湾・空港の工事及び業務の中から、優良工事等選定委員会（港湾空港関係については表彰審査委員会）において審査を行いました。

3. 選定方針

(優良工事)

- ①当該工事の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ②工事の難易や、創意工夫、安全対策への取り組み等が優れているもの。

(優秀工事技術者)

- ①当該工事技術者の担当した工事が優良であり、かつ、工事中における当該工事技術者の功績が顕著なもの。
- ②管理能力、技術能力、仕事に対する積極性、誠実性等が優れているもの。

(安全管理優良受注者)

- ①関東地方整備局発注の一般土木工事、アスファルト舗装工事及び港湾・空港土木工事において累計完成工事量が多く、無事故を継続しているもの。

(優良業務及び優秀技術者)

- ①当該業務の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ②業務計画段階から全体を掌握し、優れた企画力を発揮、積極的に斬新な提案を行うなど創意工夫がみられるもの。
- ③技術的に高度で複雑な業務を遂行し、優良な成果として取りまとめたもの。

4. 表彰される件数、人数（別紙 1～3 参照）

- (1) 優良工事 48 件（43 社）
- (2) 優秀工事技術者 40 名
- (3) 安全管理優良受注者 80 社

内訳は、アスファルト舗装工事の受注者： 4 社

一般土木工事の受注者 : 71 社

港湾・空港土木工事の受注者 : 5 社

(4) 優良業務 39 件 (27 社)

(5) 優秀技術者 36 名

5. 工事、業務の概要及び表彰理由 (資料 1 ～ 2 参照)

6. 表彰式

表彰式は、関東地方整備局長の他局内幹部が出席して、優良工事受賞の 43 社 (重複受賞含む) と優秀工事技術者受賞の 40 名、安全管理優良受注者受賞の 80 社及び優良業務受賞の 27 社 (重複受賞含む) と業務を担当した 36 名が出席し、局長から表彰状が授与されます。

なお、表彰式は「平成 23 年度工事成績優秀企業」認定式と合同開催です。

7. その他

1) 優良工事、優秀工事技術者、安全管理等の工事で表彰された場合は、総合評価方式等において企業の技術力評価が優位になります。

また、優良業務表彰及び優秀技術者表彰を受賞した場合は、それぞれ企業及び担当技術者の技術力評価が優位になります。

2) 事務所長表彰ではありますが、今年度より新たに災害工事功労表彰制度を設けました。これは、災害における応急復旧工事のうち、施工が良好で他の模範とするに足りるものを表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

H 2 3 年度 優良工事局長表彰リスト 1/2

No.	事 務 所	工 事 件 名	工 種	業 者 名	優秀技術者氏名
1	下館河川事務所	勝瓜頭首工魚道整備工事	一般土木工事	渡辺建設株式会社	石戸 一博
2	宇都宮営繕事務所	茨城県警察学校本館建築その他工事	建築工事	株式会社鈴木良工務店	小野 光康
3	二瀬ダム管理所	二瀬ダム管理施設整備工事	建築工事	若築建設株式会社 東京支店	加賀谷 学
4	国営昭和記念公園事務所	H21昭和こもれびの里農家体験施設建築工事	木造建築工事	砂川建設株式会社	小山 裕司
5	常陸河川国道事務所	谷田地先災害復旧工事	一般土木工事	株式会社浜屋組	池田 真人
6	下館河川事務所	今宮排水樋管改築工事	一般土木工事	株式会社小葉建設	
7	霞ヶ浦河川事務所	H22新田地区波浪対策工事	一般土木工事	株式会社波崎建設	
8	渡良瀬川河川事務所	H22松木山腹(キャン沢)工事	一般土木工事	株式会社浜屋組	高橋 澄夫
9	利根川水系砂防事務所	大沢川第二砂防堰堤工事	一般土木工事	株式会社加賀田組 東京支店	酒井 敦
10	大宮国道事務所	H21・22笹目橋(下り線)耐震補強工事	維持修繕工事	坂田建設株式会社 東京支店	坂野 桂輔
11	北首都国道事務所	圏央道幸主高架橋下部その3工事	一般土木工事	共立建設株式会社	若宮 貴志
12	利根川下流河川事務所	H23芦崎地区護岸災害復旧工事	一般土木工事	株式会社吉田組 東京支店	高畠 幸利
13	相模川水系広域ダム管理事務所	H23青根進入路工事	一般土木工事	株式会社池田建設	山本 治幸
14	横浜国道事務所	さがみ縦貫寒川北ICランプ橋下部(その3)工事	一般土木工事	奈良建設株式会社	鳴坂 洋
15	長野国道事務所	H23安茂里步道設置工事	一般土木工事	株式会社小池組	
16	東京第二営繕事務所	海上保安庁海洋情報部庁舎(仮称)建築工事	建築工事	東亜建設工業株式会社 首都圏建築事業部	
17	横浜営繕事務所	神奈川県警察学校新生徒寮建築工事	建築工事	株式会社フジタ	小佐野 卓也
18	甲武営繕事務所	気象庁清瀬庁舎(仮称)機械設備工事	暖冷房衛生設備工事	株式会社日立プラントテクノロジー空調システム営業本部	前田 眞之
19	常陸河川国道事務所	東海護岸整備工事	一般土木工事	株式会社秋山工務店	
20	常陸河川国道事務所	H23岩瀬国道維持工事	維持修繕工事	株式会社柳沢工務店	
21	霞ヶ浦河川事務所	H23浜田中央整正工事	一般土木工事	松崎建設株式会社	大崎 茂樹
22	宇都宮国道事務所	片岡大谷津地区改良舗装工事	一般土木工事	東昭建設株式会社	渡邊 有仁
23	宇都宮国道事務所	砂田高架橋耐震補強(6)工事	維持修繕工事	村本建設株式会社 東京支店	北澤 伸二
24	渡良瀬川河川事務所	H22桐生管内法面補修工事	一般土木工事	田中建設株式会社	白石 勝己
25	高崎河川国道事務所	H22新町上地先河道整正工事	一般土木工事	河本工業株式会社	松野 繁
26	高崎河川国道事務所	上泉地区他舗装工事	アスファルト舗装工事	福田道路株式会社 東京本店	橋本 晃一
27	ハッ場ダム工事事務所	H22上湯原地区擁壁工事	一般土木工事	河本工業株式会社	長谷川 正直
28	荒川上流河川事務所	H23荒川高尾地区基盤整備工事	一般土木工事	小川工業株式会社	大竹 真吾
29	大宮国道事務所	H22上尾道路小敷谷改良工事	一般土木工事	金杉建設株式会社	関根 邦光
30	北首都国道事務所	圏央道深町高架橋上部工事	鋼橋上部工事	圏央道深町高架橋上部工事横河・檜崎特定建設工事共同企業体	稲江 清継
31	利根川下流河川事務所	H23波崎地区護岸第2災害復旧工事	一般土木工事	株式会社波崎建設	下館 雄樹

H 2 3 年度 優良工事局長表彰リスト 2/2

No.	事 務 所	工 事 件 名	工 種	業 者 名	優秀技術者氏名
32	千葉国道事務所	花見川橋補修・塗装工事	維持修繕工事	ショーボンド建設株式会社 千葉支店	村木 淳平
33	東京国道事務所	H23管内橋面他舗装修繕工事	アスファルト舗装工事	株式会社竹中道路 東京本店	天野 公英
34	相武国道事務所	さがみ縦貫相模川橋下部(その2)工事	一般土木工事	前田建設工業株式会社 東京土木支店	
35	京浜河川事務所	H22平山床固改築工事	一般土木工事	多田建設株式会社 第三事業本部	
36	横浜国道事務所	酒匂2丁目電線共同溝工事	アスファルト舗装工事	中部土木株式会社 東京支店	永井 豊司
37	長野国道事務所	H23松本維持工事	維持修繕工事	株式会社藤澤組	細田 智之
38	常総国道事務所	圏央道東高架橋上部その4工事	鋼橋上部工事	日鉄トピーブリッジ株式会社 東京営業所	三田 周平
39	日光砂防事務所	般若沢上流山腹工工事	法面処理工事	中村土建株式会社	酒主 明彦
40	湯西川ダム工事事務所	龍ノ窪盛土工事	一般土木工事	河本工業株式会社	
41	江戸川河川事務所	H22昭和排水樋管改築工事	一般土木工事	伊田テクノス株式会社	
42	首都国道事務所	新木場地区曙橋上部工事	鋼橋上部工事	日立造船株式会社 東京本社	
43	川崎国道事務所	357号東八潮地区護岸工事	一般土木工事	新日本工業株式会社	
44	甲府河川国道事務所	H22中部横断大塩地区改良工事	一般土木工事	長田組土木株式会社	
45	利根川ダム統合管理事務所	H23藤原ダム維持工事	維持修繕工事	須田建設株式会社	
46	鬼怒川ダム統合管理事務所	H23五十里ダム管内維持工事	維持修繕工事	株式会社野澤實業	宇都 日出夫
47	鹿島港湾・空港整備事務所	鹿島港外港地区外港航路復旧工事	港湾等しゅんせつ	鈴縫工業株式会社	大石 剛
48	東京空港整備事務所	東京国際空港C滑走路南側延伸部連続地中壁築造工事	空港等土木	東亜建設工業株式会社 東京支店	中村 正憲

平成24年度 安全管理優良受注者表彰 1/2

(1)アスファルト舗装工事

	会社名	所在地	完成工事件数
1	菅原建設株式会社	茨城県水戸市	5
2	中部土木株式会社	愛知県名古屋市	10
3	日漕道路・ニチレキ経常建設共同企業体	東京都千代田区	5
4	北川ヒューテック株式会社	石川県金沢市	4

(2)一般土木工事

	会社名	所在地	完成工事件数
1	前田建設工業株式会社	東京都千代田区	4
2	西松建設株式会社	東京都港区	3
3	若築建設株式会社	東京都目黒区	8
4	河本工業株式会社	群馬県館林市	21
5	株式会社フジタ	東京都渋谷区	4
6	青木あすなろ建設株式会社	東京都港区	3
7	株式会社岡谷組	長野県岡谷市	14
8	株式会社ユーディーケー	埼玉県さいたま市浦和区	10
9	伊田テクノス株式会社	埼玉県東松山市	19
10	SMCシビルテクノス株式会社	東京都新宿区	13
11	あおみ建設株式会社	東京都港区	6
12	古郡建設株式会社	埼玉県深谷市	11
13	岩崎工業株式会社	群馬県太田市	15
14	工建設株式会社	千葉県千葉市中央区	8
15	大木建設株式会社	東京都江東区	11
16	古谷建設株式会社	千葉県山武郡横芝光町	7
17	株式会社高橋土建	埼玉県川越市	10
18	常陽建設株式会社	茨城県取手市	11
19	中村土建株式会社	栃木県宇都宮市	11
20	川村建設株式会社	埼玉県幸手市	11
21	磯部建設株式会社	栃木県日光市	11
22	小林建設工業株式会社	群馬県太田市	8
23	東光建設株式会社	群馬県吾妻郡長野原町	6
24	田部井建設株式会社	埼玉県熊谷市	10
25	西武建設株式会社	埼玉県所沢市	4
26	近藤工業株式会社	山梨県南巨摩郡身延町	9
27	植野興業株式会社	山梨県甲州市	7
28	吉澤建設株式会社	群馬県吾妻郡長野原町	5
29	株式会社中山組	北海道札幌市東区	7
30	三晃建設株式会社	栃木県日光市	9
31	株式会社鹿熊組	長野県長野市	4
32	新井土木株式会社	茨城県常総市	9
33	株式会社ナカノフド一建設	東京都千代田区	7
34	斉藤建設株式会社	栃木県日光市	6
35	株式会社小薬建設	茨城県筑西市	9
36	株式会社飯塚工業	山梨県笛吹市	8
37	株式会社波崎建設	茨城県神栖市	7
38	阿部建設株式会社	千葉県旭市	3
39	渡辺建設株式会社	栃木県宇都宮市	5
40	株式会社浅川組	和歌山県和歌山市	4
41	株式会社宮下組	長野県上田市	4
42	株式会社佐藤組	栃木県大田原市	4
43	田中建設株式会社	群馬県伊勢崎市	8
44	株式会社北條組	長野県長野市	4

平成24年度 安全管理優良受注者表彰 2/2

(2)一般土木工事

	会社名	所在地	完成工事件数
45	木下建設株式会社	長野県飯田市	5
46	株式会社野澤實業	栃木県宇都宮市	7
47	株式会社加藤建設	愛知県海部郡蟹江町	4
48	東邦建設株式会社	千葉県成田市	4
49	三浦建設株式会社	千葉県南房総市	3
50	株式会社松尾工務店	神奈川県横浜市鶴見区	5
51	岡田土建株式会社	千葉県銚子市	4
52	株式会社増渕組	栃木県宇都宮市	3
53	菅原建設株式会社	茨城県水戸市	6
54	砂田建設工業株式会社	山梨県西八代郡市川三郷町	5
55	剋真建設株式会社	栃木県真岡市	4
56	瑞穂建設株式会社	群馬県渋川市	4
57	榎本建設株式会社	栃木県日光市	7
58	サイレキ建設工業株式会社	埼玉県加須市	6
59	名倉建設株式会社	埼玉県吉川市	5
60	株式会社新井組	埼玉県熊谷市	4
61	真下建設株式会社	埼玉県本庄市	5
62	株式会社新光土木	山梨県甲斐市	4
63	古久根建設株式会社	東京都文京区	5
64	島田建設工業株式会社	埼玉県川口市	4
65	都建設株式会社	群馬県吾妻郡長野原町	3
66	村檉建設工業株式会社	千葉県印旛郡栄町	3
67	井上建設株式会社	山梨県南巨摩郡富士川町	4
68	細谷建設工業株式会社	茨城県稲敷郡河内町	7
69	永井建設株式会社	千葉県香取市	4
70	丹澤建設工業株式会社	山梨県西八代郡市川三郷町	4
71	株式会社山藤組	群馬県桐生市	5

(3)港湾・空港土木工事

	会社名	所在地	完成工事件数
1	株式会社秋山工務店	茨城県日立市	3
2	株式会社大本組	岡山県岡山市	4
3	菅原建設株式会社	茨城県水戸市	4
4	あおみ建設株式会社	東京都港区	9
5	若築建設株式会社	東京都目黒区	11

H 2 3 年 度 優 良 業 務 局 長 表 彰 リ ス ト 1/2

No.	事 務 所	業 務 件 名	業 種	業 者 名	優秀技術者氏名
1	河川部	H23関東地方整備局管内水文観測データ品質照査業務	土木関係建設コンサルタント業務	財団法人河川情報センター	栗城 稔
2	利根川上流河川事務所	H23渡良瀬川合流点付近氾濫対応検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社アイ・ディー・エー	桑沢 敬行
3	京浜河川事務所	H23多摩川・鶴見川水辺現地調査（魚類・河川環境基図）他業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設環境研究所	武山 直史
4	京浜河川事務所	H23相模川事業評価検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏本社	松田 浩一
5	利根川上流河川事務所	H23利根川上流氾濫流予測システム検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	H23利根川上流氾濫流予測システム検討業務河川情報センター・パシフィックコンサルタンツ設計共同体	佐藤 宏明
6	利根川ダム統合管理事務所	H23利根川上流部治水検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	中谷 明彦
7	常陸河川国道事務所	H22那珂川水環境調査検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社日水コン 東京支所	岡田 敏治
8	常陸河川国道事務所	久慈川下流震災応急対策業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社日水コン 東京支所	小泉 浩正
9	常陸河川国道事務所	那珂川下流震災応急対策業務	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社 茨城事務所	竹内 博輝
10	常陸河川国道事務所	H23管内橋梁補修設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	富士技研センター株式会社	古屋 美伸
11	下館河川事務所	H23地域と連携した鬼怒川外来種対策検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	公益財団法人リバーフロント研究所	前村 良雄
12	霞ヶ浦河川事務所	H23排泥処理地事業計画検討業務	地質調査業務	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 茨城事務所	川崎 始
13	宇都宮国道事務所	H23地域交通連携計画検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	三井共同建設コンサルタント株式会社 北関東事務所	鈴木 武
14	渡良瀬川河川事務所	H23渡良瀬川流域大規模土砂災害危機管理計画検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構	井上 公夫
15	利根川水系砂防事務所	H23利根砂防火山砂防計画検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	一般財団法人砂防・地すべり技術センター	杵木 敏仁
16	首都国道事務所	H23外環工事関係資料計画検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	大日本コンサルタント株式会社 東京支社	藤田 英司
17	荒川下流河川事務所	平成23年度荒川下流河川保全推進検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社 総合事業本部	植田 大造
18	東京国道事務所	H23新宿駅南口地区道路形態検討他業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社復建エンジニアリング	前川 修一
19	横浜国道事務所	H22さがみ縦貫道路修正設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社片平エンジニアリング	伊藤 博
20	横浜国道事務所	H22IC・JCT他設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社総合技術コンサルタント 東京支社	篠原 修二
21	東京外かく環状国道事務所	H23外環設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社エイト日本技術開発 東京支社	金 聲漢
22	富士川砂防事務所	H23釜無川流域砂防施設設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社 山梨事務所	池田 誠
23	関東技術事務所	H23道路防災診断等業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社近代設計	平野 猛也
24	国営昭和記念公園事務所	H23昭和園内水循環設備改修設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社日水コン 東京支所	小泉 浩正
25	道路部	関東管内道路ネットワーク基礎検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 埼玉事務所	志田山 智弘
26	営繕部	平塚市新庁舎・平塚第2地方合同庁舎一体的整備（仮称）設計業務	建築関係建設コンサルタント業務	株式会社佐藤総合計画	関野 宏行
27	常総国道事務所	東関東自動車道水戸線道路予備修正設計他業務23C1	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社長大 東関東支店	阪野 智也
28	渡良瀬川河川事務所	H23秋山川築堤用地調査等業務（その2）	補償関係コンサルタント業務	平和フィールド株式会社	大橋 正尚
29	荒川上流河川事務所	H22荒川橋梁部築堤検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社エイト日本技術開発 東京支社	金 聲漢
30	大宮国道事務所	平成23年度大宮国道道路空間検討業務委託	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社 関東センター	戸谷 奈穂子
31	北首都国道事務所	H23茨城圏央道五霞地区橋梁詳細設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏本社	金子 傑

H 2 3 年 度 優 良 業 務 局 長 表 彰 リ ス ト 2/2

No.	事 務 所	業 務 件 名	業 種	業 者 名	優秀技術者氏名
32	千葉国道事務所	国道6号・16号柏周辺地区渋滞対策検討業務23F5	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社 千葉事務所	山川 英一
33	相模川水系広域ダム管理事務所	H23宮ヶ瀬ダム下流環境調査業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設環境研究所	富田 邦裕
34	川崎国道事務所	平成23年度川崎臨海地域道路整備計画検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 神奈川事務所	志田山 智弘
35	甲府河川国道事務所	平成23年度新山梨環状道路環境影響調査業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社福山コンサルタント 東日本事業部	大塚 宣昭
36	長野国道事務所	H23管内事業整備効果検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	野見山 尚志
37	二瀬ダム管理所	H23二瀬ダム水辺現地調査(ダム湖環境基図作成調査)業務	土木関係建設コンサルタント業務	いであ株式会社	樋村 正雄
38	鹿島港湾・空港整備事務所	鹿島港及び茨城港災害復旧工事詳細設計		日本海洋コンサルタント株式会社	上村 圭介
39	横浜港湾空港技術調査事務所	横浜港本牧地区岸壁(−16m)予備設計		株式会社日本港湾コンサルタント	川嶋 憲

国土交通省 関東地方整備局

平成23年度 優良工事等局長表彰について

記者発表資料（参考資料）

資料－1 平成23年度 優良工事及び優秀工事技術者局長
表彰の概要及び推薦理由

資料－2 平成23年度 優良業務及び優秀技術者局長表彰
の概要及び推薦理由

※上記資料を含めた記者発表資料については、関東地方整備局ホームページ
（<http://www.ktr.mlit.go.jp>）にて7月12日（木）以降に掲載する予定です。

平成24年7月10日

国土交通省 関東地方整備局

国土交通省 関東地方整備局

平成２３年度 優良工事等局長表彰について

記者発表資料（参考資料）

平成２３年度 優良工事及び優秀工事技術者局長
表彰の概要及び推薦理由

ふりがな 業者名	わたなべけんせつかぶしがいいしゃ 渡辺建設株式会社		
ふりがな 技術者名	いしど かずひろ 石戸 一博	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	かつうりとうしゅこうぎようどうせいびこうじ 勝瓜頭首工魚道整備工事		
工 期	(自) 平成22年9月28日 (至) 平成23年6月30日		
事務所名	下館河川事務所		
工事概要	本工事は、勝瓜頭首工の魚道改修のため、新規の魚道整備工事である。 魚道は幅10mで延長160mのハーフコーン型であり、周囲保護の根固めブロックと併せて実施する施工である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、勝瓜頭首工改修の農林水産省工事と近接同時施工・仮設の共有施工となっており、随時の施工調整会議や地元市町・漁協・道路管理者等関係機関との密接な調整を行い、4月はじめには農業用水取水開始に影響なく完成する必要があったが、周辺からの苦情等もなく適切な施工管理の元に良好な施工に努め工事を完成させた。 施工にあたっては、過去に例のない大きな規模のハーフコーン型魚道であり、目的の魚類がスムーズに遡上できるよう仕上げるため、創意工夫として①ビニールハウス移動型でコンクリート打設後の養生に湿潤状態を保つ②約10トンのハーフコーンブロックの安全転置替えへの工夫③環境活性コンクリートを使用により魚類遡上向上等、環境・品質確保の提案を行い、その結果完成直後コンクリート魚道でも、目的である天然アユの大量遡上が確認され、県水産担当者や漁協からも「今後の鬼怒川のアユ釣りが明るくなった」とのご意見をいただいた。 また、会社独自に情報共有システム(ASP)導入、TS出来型施工管理等新技術にも積極的に対応し、厳しい工期内において工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	施工にあたり、農林水産省工事との競合工事内容が多く、細部にわたる工程を立案し、互いの問題点を調整できるよう提案をもって分かり易く資料作りを行った。その資料は、独自提案されたASP(情報共有システム)により出張所・事務所との情報共有を迅速化させ、農林水産省との施工調整会議でスムーズに調整を図り、トラブルなく良好な施工に努めた。 また、工事中の東日本大震災・小洪水での頭首工堰越流にも迅速な対応により、工事全体を掌握し創意工夫の提案を行いつつ、厳しい工期内でも無事故で安全に工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	かぶしがいいしやすきりょうこうむてん 株式会社鈴木良工務店		
ふりがな 技術者名	おの みつやす 小野 光康	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	いばらきけんけいさつがっこうほんかんけんちくそのたこうじ 茨城県警察学校本館建築その他工事		
工 期	(自) 平成22年3月13日 (至) 平成24年2月29日		
事務所名	宇都宮営繕事務所		
工事概要	工事場所: 茨城県東茨城郡茨城町上石崎4667-4 研修施設(鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建 延べ面積2,843.71m ²) 新築他		
表彰理由 【工事】	本工事は、茨城県警察学校本館の老朽化に伴う建て替え工事である。 その施工に当たっては、優良な施工体制の下、施工管理、工程管理及び安全管理が適切かつ確実に行われ、施工出来形も良好な仕上がりであり、工事関係書類も迅速かつ正確に行われた。特に、本工事は茨城県警察学校中長期計画に基づき工事を実施する必要があり、将来計画対応に必要な設備供給経路の提案については、設計者及び施設管理者の考え方を良く理解して、各設備の性能発揮への配慮、近接する建物への環境配慮、保全性などを配慮した施工計画を検討し、適切な施工管理により施工出来形も良好であった。 なお、茨城県警察学校内の東日本大震災により被災した施設について、すみやかに施工計画を検討し、適切な施工管理により、災害復旧工事も対応した。 また、警察学校関係者及び関連する工事との連絡・調整等も積極的に行われ、無事故、無災害かつ円滑な工事施工が行われた。		
表彰理由 【技術者】	施工途中に東日本大震災による工事中止及び災害復旧のための緊急の追加工事もあったが、優良な施工体制の下、施工管理、工程管理及び安全管理が適切かつ確実に行われ、施工出来形も良好な仕上がりであり、工事関係書類も迅速かつ正確に行われた。 特に、茨城県警察学校中長期計画に基づく将来計画対応に必要な設備供給経路については、設計者及び施設管理者の考え方を良く理解し、適切な施工計画を提案された。 また、警察学校関係者及び関連する工事との連絡・調整等も積極的に行われ、無事故、無災害かつ円滑な工事施工が行われた。		

完成又は施工状況写真



建物外観



講堂内観

ふりがな 業者名	わかちくけんせつかぶしきかいしゃ とうきょうしてん 若築建設株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	かがや まなぶ 加賀谷 学	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	ふたせだむかんりしせつせいびこうじ 二瀬ダム管理施設整備工事		
工 期	(自) 平成22年10月23日 (至) 平成24年3月26日		
事務所名	二瀬ダム管理所		
工事概要	本工事は、二瀬ダムの管理所を新築する建築工事である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、二瀬ダムの管理所を新築をするものであり、5階建てRC壁式構造物の建築工事である。 工事敷地の立地は秩父多摩甲斐国立公園内に位置し、自然公園法内の各種規制を受けることや、国道140号に隣接し縦長で狭小であることから、工事作業スペースの確保を行う必要があり、且つ異なる工種間の調整など工事を進捗させるために綿密な工程管理を実施することにより工事を完成させた。 また、建物の意匠上、開口部(窓)を確保するため壁式構造にしたことから、杭基礎や鉄筋工事において丁寧な施工管理を行うなど通常の建築工事以上の配慮を行うことにより工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	関係法令に基づく手続き、工事作業スペースの確保、異なる工種間の調整など工事を進捗させるために綿密な工程管理を行った。また、壁式構造において主要な工種である杭基礎や鉄筋工事において、安全且つ丁寧な施工管理を行うなどの配慮を行っていた。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	すながわけんせつかぶしかいがいしゃ 砂川建設株式会社		
ふりがな 技術者名	こやま ゆうじ 小山 裕司	職種	監理技術者・現場代理人
ふりがな 工事名	H21しょうわこもれびのさとのうかたいけんしせつけんちくこうじ H21昭和こもれびの里農家体験施設建築工事		
工 期	(自) 平成21年11月3日 (至) 平成23年9月30日		
事務所名	国営昭和記念公園事務所		
工事概要	本工事は、国営昭和記念公園内のこもれびの里エリアにおいて農家体験施設として来園者に公開するため、古民家を移築復元する工事である。主な工種は、木造平屋建て主屋移築1棟、木造二階建て内蔵移築1棟、コンクリート造平屋建て水屋新築1棟他工事		
表彰理由 【工事】	本工事は、立川市の指定文化財である江戸中期の古民家及び内蔵を移築復元する工事であるため、主屋及び内蔵については解体前の建物を忠実に復元する必要がある。このため、解体時の調査報告を十分吟味すると共に古材に残された痕跡を綿密に調査し、木工事、左官工事及び茅葺き屋根工事について江戸期からの伝統工法・技術により主屋の復元及び内蔵の建て方、土壁の荒打ちまでを事故無く完了させ、立川市の文化財審議委員からも高い評価を得た。また、近傍に建築された新築の水屋についても復元建造物の風情を壊すことなく完成させた。		
表彰理由 【技術者】	監理技術者(兼現場代理人)として、指定文化財である日本家屋の移築復元という本工事の目的を十分理解し、監督職員と綿密な打合せを行い、木工事、左官工事等の下請け施工業者を的確に指導し事故無く工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



主屋



内蔵



水屋

ふりがな 業者名	かぶしきがいしゃはまやぐみ 株式会社浜屋組		
ふりがな 技術者名	いけだ まさと 池田 真人	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	やたちさきさいがいふっきゅうこうじ 谷田地先災害復旧工事		
工 期	(自) 平成23年9月28日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
工事概要	本工事は那珂川右岸79.5k付近のブロック積み護岸の災害復旧工事である。主な工事内容は延長約260m、上下2段で高さ約7mの護岸基礎工513m(上下段合計)、コンクリートブロック積み法覆護岸工1,869m ² (上下段合計)、構造物撤去工1式、仮設工1式である。		
表彰理由 【工事】	工期的にきびしい工事であったが、施工者自ら工期短縮の工夫をし無事完成させた。本工事は住宅地に近接した崖地の損傷したコンクリートブロック積み護岸の災害復旧であり、復旧方法は既設護岸を撤去しないでその上を覆う形でコンクリートブロック積み護岸を設置する方法としたため、全くの新設に比べ手間がかかる工事であった。また、実質工期は非出水期の11月1日から3月31日までの5ヶ月であるため工期的にきびしい工事であった。 そこで事前に監督職員の承諾を得て護岸基礎工にコンクリート2次製品を使用することにより、通常の生コン打設後5日で脱型、これを何回か繰り返して全延長を仕上げる工程より短縮を図った。さらにその後のブロック積み施工にあたり特殊つり金具を使用することにより、施工性を向上させ工期短縮を図った。 また、新技術を用いる等の創意工夫を積極的に実施した。さらにインフォメーションボードを設置し毎月掲示内容を更新し地元住民への工事内容・進捗の周知理解を図った。		
表彰理由 【技術者】	本工事は工種的には少なく比較的単純な工事であるが、技術者として品質向上のための創意工夫に積極的に取り組んだ。例として、出来形管理については、社内規格値による高規格値による管理、基礎砕石において現場に設計値幅のテープを設置することにより出来高管理精度の向上とともに施工性を向上させた。品質管理については横帯コンクリート打設時に現場で生コンの単位水量を測定し管理するとともに、横帯コンクリート傾斜部の施工品質向上のため透水性型枠シートを用いることにより空気あばたのない仕上げとした。 また、工事書類作成マニュアルの内容、趣旨を十分に理解しており、工事書類作成について無駄がなく、工事金額の割に工事書類が少なく非常に優れたものであった。		

完成又は施工状況写真

完 成



施工状況



ふりがな 業者名	こぐすりけんせつかぶしがいいしゃ 小薬建設株式会社		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	いまみやはいすいひかんかいちくこうじ 今宮排水樋管改築工事		
工 期	(自) 平成22年9月14日 (至) 平成23年6月30日		
事務所名	下館河川事務所		
工事概要	本工事は、鬼怒川右岸にある老朽化した今宮排水樋管を、堤防拡幅と併せて改築する工事である。施工延長 L=78m		
表彰理由 【工事】	本工事周辺は、耕作地、集落地帯があり、生活用道路を搬入路としての利用、施工に伴う借地など、地元の理解と協力が工事に影響を及ぼす。耕作者等と安全確保・境界確認・工事内容について詳細な説明を行った結果、地元の理解を得られ、苦情もなく工事を完成させた。 工事の施工では、新技術を積極的に採用し、コンクリートの品質確保のために、材料分離、鉄筋のかぶり不足対策、養生等を工夫した。さらに、樋管を設置する際に沈下対策として地盤改良を行ったが、大口径の攪拌精度の高い改良体にする事で品質の向上、コスト縮減、工期短縮を図った。また、安全管理では、工事事故防止のためにバックホウに後方確認装置(バックモニター)を設置する事で、安全確保を行った。		
表彰理由 【技術者】			

完成又は施工状況写真

完成



施工中



ふりがな 業者名	かぶしきがいしゃはさきけんせつ 株式会社波崎建設		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	H22しんでんちくはろうたいさくこうじ H22新田地区波浪対策工事		
工 期	(自) 平成23年3月8日 (至) 平成24年3月23日		
事務所名	霞ヶ浦河川事務所		
工事概要	本工事は、茨城県潮来市新田地先(北浦右岸)において、消波施設設置工事を行ったものである。主な工事としては離岸堤工 L=35m 7基、L=45m 1基を構築したものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、漁業操業区域に天然石による消波施設を設置した工事であり、漁業施設の移設を伴うため、関係者への事前周知を十分行い、工事期間中の工事工程説明や情報提供を行うなどの工夫により苦情が無かった。また、工事PR看板、工事区域の明確化により漁船、レジャー船舶航行への安全に配慮した工事を行った。施工箇所の変更、構造変更に伴う設計変更に対し、早期に工事を開始し十分な工期を確保し、荒天時の作業を行うことなく工事工程の進捗を確保した。特に、石材水上運搬距離の長距離変更に対応し、狭窄の橋脚部通過の安全航行に特段の工夫を行い安全対策に優れていた。 現場作業所はもとより、受注者組織が一体となった施工管理の姿勢があり、他工事の模範となった。		
表彰理由 【技術者】			

完成又は施工状況写真



施行状況



完成写真

ふりがな 業者名	かぶしがいいしやはまやぐみ 株式会社浜屋組		
ふりがな 技術者名	たかはしすみお 高橋 澄夫	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	H22まつきさんぶくきやんざわこうじ H22松木山腹(キャン沢)工事		
工 期	(自) 平成23年2月16日 (至) 平成24年3月30日		
事務所名	渡良瀬川河川事務所		
工事概要	本工事は、渡良瀬川上流域の足尾地区において、裸地化した山肌に緑を復旧するために施工した山腹工事である。今回の工事においては山腹における地山の整形、補強土擁壁工並びに法面工を施工したものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、荒廃裸地化した山腹斜面からの土砂流出を防ぎ、失われた緑の復元を図るための山腹工事である。また、当該斜面は45度以上の急斜面からなり、かつ岩盤の風化が著しく浮き石も多く、現場条件の厳しい工事箇所で作業に当たっては常に転落と落石の危険を伴う難工事であった。 本工事の施工に当たっては、工程の短縮を図るために、補強土擁壁工を施工するために、法面整形に新技術(無人化機械)を採用した他、施工手順の工夫により作業効率を向上させ、適正な工程管理を行うことにより、効率よく工事を進めた。 また、冬期における埋戻土の品質の確保においては、土砂をホッパーにより索道で小運搬し、締固め後にはシート養生を行い、凍結防止及び降雪における対応を行った。安全対策としては、誘導員による徹底した人払いを行い、落下物事故を防止した他、無人化機械の使用により落石事故の防止に努め、無事故で完成させた。砂防工事安全施工研究発表会においては、事務所代表として関東地方整備局にて発表を行った。よって、ここに優良工事としての推薦を行うものである。		
表彰理由 【技術者】	本工事の施工に当たって監理技術者は、独自の工夫と対策を積極的に実施し、工事を円滑に進めた。よって次の理由により優秀監理技術者として推薦する。 ①施工手順の工夫により作業効率を向上させることによって、工事を円滑に進めた。 ②人払いのための誘導員を積極的に配置することにより、安全管理を徹底し、事故の防止を図った。 ③現場事務所のトイレを植樹関係者及び観光客に開放することによって、地域への貢献を積極的に図った。		

完成又は施工状況写真



完成全景



無人化機械施工



間伐材擁壁組み立て状況

誘導員による人払い



誘導員による人払い

ふりがな 業者名	かぶしきかいしゃかがたぐみ とうきょうしてん 株式会社加賀田組 東京支店		
ふりがな 技術者名	さかい あつし 酒井 敦	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	おおさわかわだいにさぼうえんていこうじ 大沢川第二砂防堰堤工事		
工 期	(自) 平成20年2月20日 (至) 平成23年8月11日		
事務所名	利根川水系砂防事務所		
工事概要	当該施設は本堰堤H=25m、堤長88.5m、副堰堤H=6.5m、堤長39mからなる土石流対策の砂防堰堤である。本工事では、前回工事(H14～18)に引き続き施工を行い堰堤を完成させるものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は狭隘な溪流部に高さ25mの大規模な砂防堰堤を施工するものである。工事施工箇所付近の河床には過去に発生した土石流等による巨石が多量に堆積し、土石流災害の危険性の高い溪流での施工である。このような厳しい施工のなかで、安全対策や土石流に対する対策に数々の工夫を重ね高度な技術をもって、困難を克服し工事を完成させたことは高度な技術力と高いマネジメント能力によるものである。 また、工事は自然環境に配慮した施工法を採用し、工事により発生した立木を有効活用するなど、環境に配慮した砂防事業の推進に果たした役割は特に顕著であり、他の模範となる。		
表彰理由 【技術者】	山間僻地、積雪寒冷地、土石流発生の恐れがある溪流という厳しい現場条件において、設計図書や適用となる諸基準を熟知する事により常に適切な対応による施工を行い、下請けへの技術的指導も行き届いていた。良好な施工により現場の安全管理も行き届き、工期に十分余裕をもって無事故で工事を完成させた功績は顕著であり、配置技術者としての能力を最大限発揮した。 また、工事安全パトロールや工事安全協議会活動において中心的な役割を果たし、協議会に参加する若手技術者の育成に努めるなど、その活動は特に顕著であり模範となる。		
完成又は施工状況写真			
			

ふりがな 業者名	さかたけんせつかぶしがいいしゃ とうきょうしてん 坂田建設株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	さかの けいすけ 坂野 桂輔	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	H21・22ささめばし(くだりせん)たいしんほきょうこうじ H21・22笹目橋(下り線)耐震補強工事		
工 期	(自) 平成21年9月18日 (至) 平成23年5月31日		
事務所名	大宮国道事務所		
工事概要	本工事は、国道17号(新大宮バイパス)が1級河川「新河岸川」及び「荒川」を渡河する笹目橋(下り線)の高水敷部P4、P5、P6橋脚の3橋脚について、鋼板巻き立て工法により補強する橋脚耐震補強工事である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、1級河川「新河岸川」及び「荒川」の高水敷における既設橋脚の耐震補強工事であるが、河川内での施工で、限られた期間の中で施工を行う必要があった。 工事の施工にあたり、掘削(深さ約10m)では土留め工により作業ヤードの確保を行い、作業員の安全を確保し施工を行った。また、施工中に発見された地中障害物(仮止水壁)の影響により仮設計画の変更・耐震設計の見直しを要したが、優れた技術的判断により早期に対策を実施し、工程を詳細に検討し的確な施工管理を行い品質・出来形が良好な構造物を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	本施工にあたっては、施工条件等が厳しいなか、関係機関等との連絡調整を密に行い、工事の進捗状況等の把握や調整を行った。また、新たに発生した事象(地中障害物への対応等)についても優れた技術力をもって迅速かつ的確に対応するなど、工事工程を詳細に検討し、的確な工程管理・施工管理・安全管理を行い、良好な品質・出来形の構造物を完成させた。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	きょうりつけんせつかぶしがいいしゃ 共立建設株式会社		
ふりがな 技術者名	わかみや たかし 若宮 貴志	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	けんおうどうこうしゅこうかきょうかぶその3こうじ 圏央道幸主高架橋下部その3工事		
工 期	(自) 平成23年3月19日 (至) 平成23年10月27日		
事務所名	北首都国道事務所		
工事概要	本工事は、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道の橋梁下部工事を施工を行ったものである。 橋脚躯体工:6基 既製杭工:杭径1000mm、SC+PHC杭34本、L=55.0～58.0m		
表彰理由 【工事】	本工事は、茨城県五霞町における圏央道事業の本線橋の橋梁下部工事である。 当該工事の施工箇所は、軟弱地盤での既製杭の施工を伴う工事であり、一定の杭の施工精度を確保することが重要なポイントであった。 杭施工に先立ち山留め鋼矢板の施工後、土間コンクリートを打設し、杭の施工位置を固定すると共に、杭打ち機の自重を分散させる工夫を行った結果、杭偏芯の規格値に対し概ね50%以内で変位を抑えることが出来た。また、工程への影響も無く無事故で工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	監理技術者、若宮貴志氏は当該工事に着手するにあたり、安全管理はもとより、地域への貢献として現場詰所を児童の緊急避難場所「子供を守る110番の家」に設定し、地元小学校、警察、町と連携した地域貢献に積極的に取り組んだ。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	かぶしがいいしやよしだぐみ とうきょうしてん 株式会社吉田組 東京支店		
ふりがな 技術者名	たかばたけ ゆきとし 高島 幸利	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	H23あしざきちくごがんさいがいふっきゅうこうじ H23芦崎地区護岸災害復旧工事		
工 期	(自) 平成23年8月6日 (至) 平成24年3月26日		
事務所名	利根川下流河川事務所		
工事概要	本工事は、平成23年東北地方太平洋沖地震により被災した千葉県銚子市芦崎地先の護岸延長848mの災害復旧工事を行うものである。主な工種は、広幅鋼矢板Ⅱw7m～9m(1116枚)、連節ブロック張(1418m ²)、根固めブロック2t(275個)である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、背後地が浚渫土のストックヤードと隣接し、工事用道路と作業スペースを兼ねざるを得ない狭隘な現場条件を克服する必要があった。また、施工にあたっては、潮の干満の影響を受けながら施工するという厳しい状況で工事を施工する必要があった。 施工にあたっては、工事用出入り口の増設や潮位が下がる夜間に根固めブロックの据付及びつり込み作業を行うなど、工程管理の工夫を行った。管理面では、ヤード内における軟弱地盤上での適切な作業条件の確認など、施工体制の充実に努めるとともに積極的な新技術の活用を行った。 また、ホームページを開設し、進捗状況の公開により周辺住民への情報提供を行い、多くの創意工夫の提案を行う等、効率のよい施工を行って工事を完成させた。出来型管理面では、大型クレーンによるつり込み作業などが干潮時の施工のため夜間作業となったが、出来形・美観ともに良好であった。		
表彰理由 【技術者】	狭隘な現場条件の中で、現場経験から工事用道路の増設本数や地耐力の確保、車両交換場所などに留意したこと、並びに夜間作業においては潮位の影響を極力少なくするための施工時間の監理やオペレーターの安全面に注意し計画的に工事を行った。 軟弱地盤の施工については、社内管理体制を活用し作業条件の確認に努め、適切な施工を行った。現場経験の少ない若い技術者には工事のノウハウを適切に教授し、また、新規下請業者への安全面における徹底した指導に努め、工事の出来形・美観も良好であった。ホームページの開設についても主軸となって情報の公開を行い地域との情報共有に努めたことにより理解も得られ公衆災害の防止に寄与した。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	かぶしがいいしやいけだけんせつ 株式会社池田建設		
ふりがな 技術者名	やまもと はるゆき 山本 治幸	職種	現場代理人・主任技術者
ふりがな 工事名	H23あおねしんにゅうこうじ H23青根進入路工事		
工 期	(自) 平成23年6月25日 (至) 平成24年3月25日		
事務所名	相模川水系広域ダム管理事務所		
工事概要	本工事は、既設道路(林道)を拡幅するための道路改良工事のⅠ期工事として、函渠工、擁壁工等を実施するものである。		
表彰理由 【工事】	施工箇所が山間部の狭隘箇所であるとともに、沢水の処理も必要であったが、現場条件に適した施工手順を検討し、安全にも留意し良好な施工に努めた。 また、土質条件の違いや関係機関との協議に伴う度重なる現場条件の変更にも、迅速かつ適切に対応した。 また、工程に影響が生じるような例年にない降雪があったが、適切にフォローアップするとともに、機材や重機の手配を的確に行うことにより、工期内に完成させた。 さらに、品質管理においては、きめ細かな施工がなされ、美観良く仕上げた。		
表彰理由 【技術者】	設計図書の照査を速やかに行い、現場との相違点を提示するとともに修正作業を実施したり、監督職員への報告や協議を適時、的確に行い、有意な提案をするなど、積極的な姿勢が評価できる。 施工体制においては、下請けの体制や状況を十分把握し、作業員に対しても適切な指示を行った。また、天候の急変や、地震等の緊急時の対応も速やかであった。 さらに、地域主催のイベントに積極的に参加するなどし、地域と良好な関係を築くことにより、工事をより円滑に進めた。		

完成又は施工状況写真



完成写真



施工状況写真

ふりがな 業者名	ならけんせつかぶしがいいや 奈良建設株式会社		
ふりがな 技術者名	なるさか よう 鳴坂 洋	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	さがみじゅうかんさむかわきたインターランプきょうかぶ(その3)こうじ さがみ縦貫寒川北ICランプ橋下部(その3)工事		
工 期	(自) 平成22年4月28日 (至) 平成23年7月31日		
事務所名	横浜国道事務所		
工事概要	本工事は、一般国道468号さがみ縦貫道路(圏央道神奈川区間)の寒川北IC予定地において、橋脚2基を新設する橋梁下部工事である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、JR線と住宅地に挟まれたヤード内での工事であり、一部用地取得の遅れた地域に隣接するなど、制約を受けた中での施工であったが、積極的な提案を持って現場条件に対応し、工事を完了させた。 工事施工にあたり、コンクリートの品質確保のため、耐アルカリ性ガラス繊維ネットを側面に配置しひび割れ低減に努めるとともに、寒中コンクリート養生として、ビニールダクトで温風を満遍なく行き渡らせる工夫などにより高品質な目的物を仕上げた。また、安全管理においては、第三者による足場の点検を受け、安全に配慮した現場と評価されたことが新聞に掲載され、寒川北ICの工事が安全に進捗していることをアピールするとともに、工事事故災害ゼロで工事を遂行した。 また、道路事業に対する地元住民の理解を得るため、定期的に工事の進捗状況写真を更新した資料を配布するなど地元の方々に事業へのご理解をいただくとともに、近隣中学校の職場体験授業として、当工事現場を見学していただき、事業に対する興味を持っていただくなど、良好な地域コミュニケーションを積極的に築き、苦情トラブルもなく工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	さがみ縦貫道路は、目標宣言プロジェクトに基づく供用を間近に控えた事業であり、狭いヤードの中に複数事業者が輻輳しながら、供用に向けた工事を行っている。複数事業者としては、国土交通省の他に中日本高速道路㈱や東日本旅客鉄道㈱、東海旅客鉄道㈱、東京電力㈱等が参画しており、これらの関係事業者が、より能率的・効果的な施工性や安全性の確保が重要な課題である。 当技術者においては、隣接工区との調整や情報共有を図るスキームづくりに尽力し、関係者相互が必要とする共有仮施設の整備を適時行い、また共有仮施設を継続的に良好な状態に維持したことにより、本工事のみならず関係各工事の目標を達成させた功績は大きく、現場条件に対応した課題解決を図る姿勢が高く評価できるものである。		

完成又は施工状況写真

施工中写真(H23.7)



安全管理(第三者による現場点検)



ふりがな 業者名	かぶしがいいしゃこいけぐみ 株式会社小池組		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	H23あもりほどうせっちこうじ H23安茂里歩道設置工事		
工 期	(自) 平成23年10月1日 (至) 平成24年3月30日		
事務所名	長野国道事務所		
工事概要	本工事は、一般国道19号の犀川沿いに430mの歩道を新設する工事である。主な工事としては、L型擁壁工、防護柵工及び舗装工等による歩道設置である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、犀川沿いのブロック積護岸の上にL型擁壁を設置し、歩道を新設する工事である。現地を精査した結果、一部の区間で当初の構造では対応出来ない区間があることが判明し、工期内で経済的に有利である新技術の張出し工法を提案した。また、L型擁壁の天端に防護柵の基礎が一体化した二次製品を使用し工費と工期の短縮を図るなど、受注者として工事内容を十分に熟知して施工を行った。 路肩付近の掘削での施工のため、路面に異常が発生していないか目視で確認すると共に、測量による定点観測を提案し、大きな路面損傷も無く安全に施工を行った。 施工箇所は緩やかなS字カーブで既設ガードレールを撤去した終日片側規制での施工となるため、夜間の一般ドライバーからの視認性を良くするための人型のブルーライトを使用するなど、一般交通の安全確保も図った。		
表彰理由 【技術者】			

完成又は施工状況写真
【完成】



【施工状況】



ふりがな 業者名	とうあけんせつこうぎょうかぶしがいいしゃ 東亜建設工業株式会社		
ふりがな 技術者名	たけだ ゆきまさ 武田 恭昌	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	かいじょうほあんちようかいじょうじょうほうぶ(かしよう)けんちくこうじ 海上保安庁海洋情報部庁舎(仮称)建築工事		
工 期	(自) 平成21年9月15日 (至) 平成23年12月15日		
事務所名	東京第二営繕事務所		
工事概要	庁舎 鉄骨造10階建 建築面積 2,631㎡ 延べ面積 19,869㎡		
表彰理由 【工事】	本工事は「国有財産の有効活用に関する報告書(平成19年6月)」により、中央区築地に位置していた海上保安庁海洋情報部庁舎を江東区青海に移転させるプロジェクトである。 建設地は東京湾臨海副都心部であることから、最新の知見に基づく液状化対策や耐震対策を十分検討し、高い安全性の確保に努めた。 建物のレイアウトは、低層部に海洋情報部の調査・分析部門等、高層部に事務室等が配置された計画となっており、各種設備と高度な調整が要求されるものであるが、入居官署及び別発注工事との調整を適切に行い品質の高い施設を完成させた。 また、東日本大震災により火災が発生、相当な被害を被ったが、迅速かつ適切な対応により、工期延期を最小限とすることができた。		
表彰理由 【技術者】	本技術者は、本施設に求められる水準を達成するため、入居官署及び別発注工事と調整できる高度な技術力と協調性を併せ持ち、工事間の連絡・調整・工程管理などを積極的に行い、求められる水準と入居官署の意図を反映し円滑な運営のもと、品質の高い施設を完成させた。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	かぶしがいいしゃふじた よこはましてん 株式会社フジタ 横浜支店		
ふりがな 技術者名	こさの たくや 小佐野 卓也	職種	現場代理人・監理技術者
ふりがな 工事名	かながわけんけいさつがっこうしんせいとりょうけんちくこうじ 神奈川県警察学校生徒寮建築工事		
工 期	(自) 平成22年3月24日 (至) 平成23年8月30日		
事務所名	横浜営繕事務所		
工事概要	本工事は、神奈川県警察学校にある生徒寮(RC-4 4,716㎡)の新営工事における建築工事である。		
表彰理由 【工事】	神奈川県警察学校では、施設の老朽化に加え、入学者の増加に対応すべく、施設全体の建替えを平成17年度より順次行っている。警察学校は全寮制の運営を基本とするため、本工事においても、単に1建物内の工事に留まらず、学校全体の運営を考慮した工程管理や入居官署との調整を行うことが求められていた。 本工事では、震災や不測の地中障害物対応などによる工程の遅れが懸念される中、入居官署や関連工事の施工者との積極的な調整を図りつつ、適切な工程管理を行った。また、工場加工製品の積極的な利用による品質精度の向上、モデルルームによる詳細検討を入居者を含め実施したことによる顧客満足度の向上への寄与など、施設としての品質確保に十分配慮した施工を行い、工事を完成させた功績は高く評価できる。		
表彰理由 【技術者】	本工事の技術者は、現場代理人・監理技術者として工事全般を十分に把握しており、入居官署や関連工事の施工者との積極的な調整を図りつつ、適切な工程管理を行った。また、スラブへの透明型枠及び採光仕様の防音シート設置における採光確保や夏季の作業員の熱中症対策として冷水器製氷機の常設のほかWBGT指標値管理の実施など、作業環境の改善や安全対策の実施についても積極的に行った。 震災や不測の地中障害物対応などによる工程の遅れが懸念される中、施設として十分な品質を確保しつつ安全対策を行い、工期内に無事故で工事を完成させた功績は高く評価できる。		

完成又は施工状況写真



神奈川県警察学校生徒寮(相武第三寮)



寮室

ふりがな 業者名	かぶしがいいしゃ ひたちぶらんとてくのろじー くちようしすてむえいぎようほんぶ 株式会社日立プラントテクノロジー 空調システム営業本部		
ふりがな 技術者名	まえだ まさゆき 前田 眞之	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	きしょうちようきよせちようしゃ(かしよう)きかいせつびこうじ 気象庁清瀬庁舎(仮称)機械設備工事		
工 期	(自) 平成22年2月9日 (至) 平成23年12月26日		
事務所名	甲武営繕事務所		
工事概要	空気調和設備、換気設備、自動制御設備、衛生器具設備、給水設備、排水設備、給湯設備、消火設備の新設工事、改設工事		
表彰理由 【工事】	本工事は気象庁気象衛星センターの新庁舎(第三庁舎)及び付属棟の建設に伴う新設工事並びに気象衛星センターの業務を行いながらの既存庁舎の改設工事であった。 工事着手前に発生した東日本大震災の影響で資機材等の調達が非常に困難な中、綿密な工程管理を行い厳しい工期内に優秀な品質を確保しながら工事を完成させた。 また、近隣住民に対して騒音・振動及び安全対策に配慮した仮設計画を立案し、住民説明を行うなどクレームなく無事故・無災害で工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	本工事の担当者は、発注内容の主旨を正しく理解した上で、気象庁発注のスーパーコンピューターの特質及び要求内容に応じた施工計画を立案し、品質を十分に満たす施設を完成させた。 特に、気象庁発注のスーパーコンピューター設置工事の受入れにおいては、空気調和設備全体の「システムの能力」、「導入後の制御・監視」について独自のシュミレーターによる検証を行うなどの品質管理を行った。本工事におけるその取り組み姿勢は非常に優秀であった。		

完成又は施工状況写真



第三庁舎(外観)



第三庁舎 B1F:空調機械室



第三庁舎 RF:熱源機置場



第三庁舎 2F:計算機室

ふりがな 業者名	かぶしきがいしゃあきやまこうむてん 株式会社秋山工務店		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	とうかいごかんせいびこうじ 東海護岸整備工事		
工 期	(自) 平成22年10月13日 (至) 平成23年6月15日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
工事概要	本工事は、久慈川右岸の「東海地区かわまちづくり整備事業(東海水辺プラザ整備事業)」の一環として、護岸工及び園路整備工を施工したものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、東海村と常陸河川国道事務所が連携し進めている「東海地区かわまちづくり整備事業(東海水辺プラザ整備事業)」の一環として、久慈川右岸の高水敷に整備されているグラウンド観戦用の観覧席を兼ねた高水護岸(階段ブロック工)及び散策路の整備を行ったものである。 本工事は、河川敷グラウンドとの近接施工となるため、工事着手前からグラウンド管理者との緊密な打合せを行い、グラウンド使用に合わせた工程管理を行い、工事進捗を図った。 また、環境整備事業の工事である趣旨を十分理解し、観覧台の設置、グラウンド利用者も使用できる簡易トイレの設置、提案箱の設置、毎月一回以上の周辺のゴミ拾い等、周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ創意工夫が多数実践された。工事期間中に東日本大震災に遭い、工事の手直しや津波のゴミの撤去などを余儀なくされたが、臨機に対応し、工事を遅滞させることなく無事故で完成させたことは、他工事の模範となるものである。		
表彰理由 【技術者】			

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	かぶしがいいしやなぎさわこうむてん 株式会社柳沢工務店		
ふりがな 技術者名	えびさわ せいじ 蛸澤 清次	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	H23いわせこくどういじこうじ H23岩瀬国道維持工事		
工 期	(自) 平成23年4月1日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
工事概要	本工事は、岩瀬国道出張所管内の国道50号の車道補修、除草、路面清掃等の維持管理を行う工事である。 主な工事は、舗装維持工一式、除草一式、清掃一式、構造物補修工一式等である。		
表彰理由 【工事】	本工事の施工に当たり、道路維持費のコスト縮減を踏まえ、最低限確保すべき道路管理水準を発注者と協議して、沿道住民からの要望や苦情に対し、的確な対応を行うとともに、東日本大震災の災害補修についても、的確、かつ、臨機応変に対応した。 特に、車道補修のうち、クラックシールやパッチング等に当たっては、年度当初から施工段取りを進め、お盆前には施工を管内全線に渡り完了させ、お盆や秋の行楽シーズンの渋滞緩和に貢献した。 なお、夏の時期は、沿道住民からののり面除草への要望や苦情が多く入る中、緑地管理施工業者と工程調整や安全管理等について、発注者からの指示待ちではなく、積極的に調整を進め、工事を円滑に進めた。 さらに、東日本大震災で段差が出たボックスの周辺については、下請け業者との現地調査を十分に実施し、明確な施工計画書を作成のうえ、路面の品質を大きく確保した。 このことは、高く評価できるものであり、他工事の模範となる。		
表彰理由 【技術者】	監理技術者とともに、管内の道路工事の経歴や補修経歴、また地元住民の過去の苦情状況等に精通しており、そのことを踏まえ、コスト縮減のための施工計画書を立案した。 その計画に基づき、一年間にわたり、苦情や要望等についても必要最小限にとどめ、しかしながら、要望者との合意は得ることを基本として、的確に工事を進捗させた。 さらに、冬季時の路面凍結時の対応は、発注者からの指示ではなく、積極的に対応案を作成し協議を進め、事故等を発生させることなく、路面凍結防止のための対応を行い、職務や工事の目的や内容を十分理解し、責任を持って工事に取り組んでおり、他の工事の模範として高く評価できる。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	まつざきけんせつつかぶしがいしゃ 松崎建設株式会社		
ふりがな 技術者名	おおさき しげき 大崎 茂樹	職種	監理技術者・現場代理人
ふりがな 工事名	H23はまだちゅうおうせいせいこうじ H23浜田中央製正工事		
工 期	(自) 平成23年10月15日 (至) 平成24年3月30日		
事務所名	霞ヶ浦河川事務所		
工事概要	本工事は霞ヶ浦浚渫事業における排泥地整備工事である。 主な工事としては地盤改良工(表層安定処理工:41,670m ² 、バーチカルドレーン工:15,000m ² 、5-105本)、排水構築物工(排水路:884m)である。		
表彰理由 【工事】	地下水位の高い軟弱地盤上での浚渫土の圧密促進、盛土安定を図る地盤改良工事であるが、震災の影響で変状した地盤の支持力を含む事前確認と照査、施工性・安全性の向上と困難解決に施工当初から計画的に取り組んだ。 排水層として施工する表層安定処理工の透水性能を確保するため、土砂運搬路の計画的な配置替と土砂再攪拌製正を行い、また、現場雨量を観測し、工程・品質・施工管理に活用した。地盤改良機械の荷重を分散し、安定性向上を図るため創意工夫を実施し、安全強化月間中の重点的安全対策徹底のための全作業員対象の臨時安全会議、建設業労働災害防止講師による安全対策強化講習会など安全衛生管理に係る具体的な取り組みの実践も行った。 震災の影響により厳しい工程管理を求められたが速やかに施工体制を整え、新技術の積極的な活用など、所定の出来形・品質を充分満足する優良な工事を無事故で完成した。 また、情報化施工技術を積極的に活用し、盛土出来形管理のほか施工管理にも応用実践し事務所職員及び他工事受注者への啓発にも取り組んだ。		
表彰理由 【技術者】	監理技術者・現場代理人として契約図書を理解し、工事全体及び現場条件を把握、施工条件・現場条件を適切に捉え、安全性と施工性を充分考慮した施工計画を具体的に立案・施工体制を整え実践した。新しい施工管理施策を積極的に受け止め、地盤改良施工時の隣接市道影響の動態観測への応用等創意工夫をもって自律的に実践した。監督職員との確認調整を適時適切に実施している。各所で実施された震災復旧事業により資機材確保、資材運搬路の錯綜があったが、下請けを含む施工体制・施工状況を常に把握して影響の最小化、まとまりのある作業所組織を構築している。生活用道路を運搬路として使用するが、地元調整を適切に行っており苦情・混乱等の発生は全くなかった。以上のとおり、施工全般細部にわたって計画的であり、施工計画から調整、施工管理にいたるマネジメントも適切・積極的に実施しており、優良技術者として模範である。		

完成又は施工状況写真



完成



バーチカルドレーン施工状況

ふりがな 業者名	とうしょうけんせつ かぶしがいいしゃ 東昭建設株式会社		
ふりがな 技術者名	わたなべ ありひと 渡邊 有仁	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	かたおかおおやつちくかいりょうほうそうこうじ 片岡大谷津地区改良舗装工事		
工 期	(自) 平成23年2月1日 (至) 平成24年2月29日		
事務所名	宇都宮国道事務所		
工事概要	本工事は国道4号氏家矢板バイパスの4車線化の工事であり、栃木県矢板市片岡地先の650m区間で改良および舗装工事を行ったものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は国道4号氏家矢板バイパスを現道拡幅により4車線化を行うものであり、沿道に飲食店や自動車修理工場などの店舗が並んでおり、これら店舗の出入り口を確保しながら工事を進める必要があった。また、路面の計画高さが現況より20cm～30cm程度高くなることから、沿道への出入り口や道路に面した駐車場利用者への配慮をしながら工事を進めることが求められた。このため、受注者は沿道の店舗1軒1軒の方々に施工方法・施工時期などを密に調整を図りながら施工を進めた結果、苦情もなく無事故で完了させた。 また、当該区間は現道拡幅による4車線化で計画高さが現況より上がることから、次年度の4車線供用を見据えながら施工手順や施工方法を十分に配慮した施工計画の立案が求められた。受注者はこれら諸条件を十分に理解ながら詳細な施工計画を提案し4車線供用に向けて大きく寄与した。		
表彰理由 【技術者】	この現場は工事推薦理由でも述べたとおり、道路の計画高さが現況より上がることから沿道関係者の理解を得ることが非常に重要であった。受注者の現場代理人は沿道住民の方々と密に調整を図り、理解を得ながら無事故で良好な施工に努めた。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	むらもとけんせつ かぶしがいいしゃ とうきょうしてん 村本建設株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	きたざわ しんじ 北澤 伸二	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	すなだこうかきょうたいしんほきょう(6)こうじ 砂田高架橋耐震補強(6)工事		
工 期	(自) 平成22年9月15日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	宇都宮国道事務所		
工事概要	本工事は、国道4号(新4号バイパス)砂田高架橋における地震時の安全性向上を目的とした耐震補強工事である。 主な工事としては、橋脚コンクリート巻立て・底版増厚工、変位制限装置工、落橋防止装置工、土留工である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、砂田高架橋の桁下の狭隘な作業ヤードとともに、供用中の側道を常時車線規制しながら作業を進めることが求められ、側道への影響を極力少なくした土留工の工夫を行うなど、良好な施工に努め無事故で工事を完成させた。 また、橋脚コンクリート巻立てや変位制限装置工の施工にあたっては、コンクリートのひび割れ防止対策やアンカー注入システム等の新技術を採用し、良好な品質確保に努めた。		
表彰理由 【技術者】	本工事は、隣接して複数の工事が競合施工となることから、関係各社間で協議会を設立し地元対応、安全管理等を統一的に調整を図りながら施工を進めた。協議会の中で会長としての役割を担い関係各社と円滑に調整を図りながら協議会全体の良好な施工に努め、事故等もなく工事を完成させた。 また、各工種の施工において日常の出来形管理も適時・的確に行うとともに、品質向上や施工性も踏まえながら新技術を採用するなど、積極的な取り組みにより良好な施工に努めた。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	たなかけんせつかぶしがいいしゃ 田中建設株式会社		
ふりがな 技術者名	しらいし かつみ 白石 勝己	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	H22きりゆうかんないのりめんほしゅうこうじ H22桐生管内法面補修工事		
工 期	(自) 平成23年2月15日 (至) 平成24年3月21日		
事務所名	渡良瀬川河川事務所		
工事概要	本工事は、桐生川右岸の桐生市東町・境野町地先堤防において、主にイノシシに荒らされて傷んだ堤防法面の補修と堤防天端の舗装工事を実施したものである。主な工事内容は、ブロックマット設置1,263m ² 、張芝8,360m ² 、アスファルト舗装工3,990m ² 等である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、法面補修約940mを含む舗装延長が約1500mと、延長の長い工事であった。そのため、沿川の関係自治会数は多数になった。また、堤防住居側は人家が連担し、施工法面と隣接して塀や植え込みがある状況であった。工事中は、天端からの重機による施工となるため、普段は散歩など、生活道路として使われている堤防天端を長期にわたる通行止めをせざるを得なかった。これらのことから、自治会を通じて、地域住民の方々に回覧板で工事の情報を伝えるとともに、施工にあたっては埃・振動・騒音に注意しながら実施した。その結果、苦情や問題・トラブルが発生することがなかった。さらに、民家に隣接する現場は安全柵で囲い、現場への一般の出入りを遮断し、第三者への危害防止に努めた。その結果、工事事故が起きることなく、無事に完成させた。一方、ブロックマット設置は丁寧で、完成した法面は出来映えも良く仕上がっている。これらのことは、他の模範となるところであ。		
表彰理由 【技術者】	本工事の現場代人は、工事延長が長く関係自治会が多いこと、周辺住民への十分な周知が必要なことを理解して自治会長と連絡を密にした。また、安全対策への取り組みを充実して、第三者への危害防止に努めた。ブロックマットの設置にあたっては、つり下げの際の重機を工夫し、仕上げが良くなるよう努力した。さらに、工事用仮設道路の片付けの際は近接用水路や河川利用者の利便に配慮したり、作業員用トイレの河川利用者への解放、周辺の橋梁や道路の清掃・普請など、地域貢献が顕著であった。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	こうもとうぎょうかぶしかいしゃ 河本工業株式会社		
ふりがな 技術者名	まつの しげる 松野 繁	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	H22しんまちかみちさきかどうせいせいこうじ H22新町上地先河道整正工事		
工 期	(自) 平成22年12月4日 (至) 平成23年6月30日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
工事概要	本工事は、烏川支川の温井川(直轄区間 L=265.7m)において、断面狭小による 流下能力不足を解消するため河床を掘り下げ、護岸を築造する工事である。主な工種 は、河道掘削、法覆護岸工、根固め工である。		
表彰理由 【工事】	現場は、流入支川で河床が狭く進入路や施工スペースが限られる箇所であり、河川 の水位変動も大きいため河川の切廻しが重要な課題であった。 本工事では右岸の施工後に左岸を施工するため、仮排水のコルゲートU字フリューム を河道内で振替えて使用し、施工スペース確保や増水等に適切に対応し限られた濁水 期間内に工事を完成させた。 また、施工箇所は釣り人など河川利用者が多いため釣り場としての機能回復や、現 場内にある橋脚2基(県管理)と護岸の接続、県管理区間とのすり付け等に的確に対 応した。 工事全般の管理及び地元調整等を適切に実施するとともに、施工に際しても数々の 工夫を行い良好な施工を実施した。		
表彰理由 【技術者】	本工事は、狭小河道内の工事であるため仮設道路、仮締切、作業ヤード等を考慮し た施工計画を綿密に立案するとともに、住宅地に近接する構造物の取壊作業時の騒 音振動対策に努力した。 また、工事期間内に異常出水により数回にわたり現場が冠水したが、安全確実な復 旧を行い工程の遅れを回避した。 工事に取り組む姿勢、判断、技術力は卓越したものがあり、他の工事の模範となるこ とから、優秀工事技術者として表彰に値するため推薦するものである。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	ふくだどうろかぶしがいいしゃ とうきょうほんてん 福田道路株式会社 東京本店		
ふりがな 技術者名	はしもと こういち 橋本 晃一	職種	監理技術者・現場代理人
ふりがな 工事名	かみいずみちくほかほそうこうじ 上泉地区他舗装工事		
工 期	(自) 平成23年2月5日 (至) 平成24年3月28日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
工事概要	本工事は、国道17号上武道路における工事延長L=597.7mの舗装工事である。 主な工種は、本線・副道・歩道等の舗装及び付帯設備として排水構造物工、防護柵工である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、先行する改良工事に工程が影響される状況であったが、適切な工事調整や工程管理を行い工事を完成させた。 また、道路路床構造等現地状況を十分に把握し適切な舗装構造提案を行い、新技術の活用を図るなど、工事目的物の品質確保に対する積極的な姿勢が見られた。 工事実施に際して沿道住民等に対し常に工事情報提供を行った他、生活道路の安全対策を適切に実施し良好な施工に努めた。		
表彰理由 【技術者】	工事全体を把握し、現地状況を踏まえた設計変更提案及び品質向上に配慮した新技術の活用など適切な施工管理に努めた。 また、関係する他工事や関係機関調整を綿密に実施し、工程管理や変更に対し積極的な対応を図り良好な施行管理に努めた。 現場課題については他工事と施工思想の提案、統一化を図り、発注者との協議及び工事の円滑化に努めた。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	こうもこうぎょうかぶしがいいしゃ 河本工業株式会社		
ふりがな 技術者名	はせがわ まさなお 長谷川 正直	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	H22かみゆばらちくようへきこうじ H22上湯原地区擁壁工事		
工 期	(自) 平成22年5月27日 (至) 平成24年3月20日		
事務所名	ハッ場ダム工事事務所		
工事概要	本工事は、ハッ場ダム建設事業に伴う代替地造成のための擁壁を施工するものである。主な工事内容としては、砂置換工によるPC壁体工(□800 L=21m)62本の施工である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、地形条件の制約上、施工ヤードが狭隘な上に、JR東日本や他工事と工事区域が競合する複雑かつ厳しい作業環境であった。また、工事区域が地権者の民家に近接していたため、騒音の発生を最小限に抑えるための重機のアタッチメントの採用による発生源対策や表示機能付きの騒音振動計による監視体制の整備など、細心の注意を払いつつ、かつ他工事との適切な工事調整を行い、90t吊クレーンなどの多数の大型建設機械を用いたPC壁体の施工を円滑に実施した。さらには、災害時の臨機対応にも積極的に貢献するとともに、工期的に厳しい状況であったにも関わらず、無事故・無災害で工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	近隣住民からの要望により、大型建設機械が常駐する工事区域内に歩道を設置する必要があったため、工事の進捗に応じた歩道の切り回しを複数回行うなどの適切な対応を行った。さらに、歩行者が高齢であったため、すべり止めの設置や人感式センサーによる注意喚起、警備員による誘導も適切に行った。その結果、歩行者の安全を確保しつつ、地元と良好な関係を築き上げ、工事を円滑に実施した。また、JRとの調整により追加となった工種に対しても、積極的に施工計画の立案を行うとともに、綿密な工程管理や現場管理を行い、工期内に工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



施工状況写真



完成写真

ふりがな 業者名	おがわこうぎょうかぶしがいいしゃ 小川工業株式会社		
ふりがな 技術者名	おおたけ しんご 大竹 真吾	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	H23あらかわたかおちくきばんせいびこうじ H23荒川高尾地区基盤整備工事		
工 期	(自) 平成23年9月14日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	荒川上流河川事務所		
工事概要	本工事は、埼玉県北本市高尾地先の荒川左岸において、北本水辺プラザ整備の一環として基盤整備を行ったものである。主な施工内容は、水路工172m、側溝工423m、管渠工125m、張芝21050m ² 等。		
表彰理由 【工事】	本工事は、整備後公園利用となる当地区の旧流路体験水路の景石等景観施工において、他工事で発生した石材の活用等資源の有効利用を図りつつ、特に石の選定や配置に関して景観および利用時の安全性に配慮しながら施工を実施した。 また、水路部の帯コンクリートの通りが良い上、種石埋込みのコンクリート部分は丁寧な施工及び入念な養生の結果、ひび割れも無く良好な品質、出来形を確保した。張り芝にはロール芝を使用したことにより施工性の向上のみならず、継ぎ目が少なくなることで、の活着性と出来映えの向上を図るなど、施工方法の改善を積極的に提案し取り入れ、工程の短縮、品質の向上に努めた。		
表彰理由 【技術者】	本工事において、当該技術者は、排水施設及び水路の施工において積極的に技術提案及び創意工夫を行い、品質、出来形を確保し工事を完成させた。 具体的には、新設排水路と既設構造物の取り壊しを最小限に留めた排水路線形を提案し、施工計画立案、適切な施工管理、工程管理を行った。 また、利用の安全性と景観に配慮が必要な水路の施工においては、予め施工サンプルの作成や発注者及び関係自治体の立ち会いのもと植石の配置試験を行い仕上がりイメージを関係者と共有しながら良好な施工を行った。		

完成写真



ふりがな 業者名	かなすぎけんせつかぶしがいいしゃ 金杉建設株式会社		
ふりがな 技術者名	せきね くにみつ 関根 邦光	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	H22あげおどうろこしきやかいいりょうこうじ H22上尾道路小敷谷改良工事		
工 期	(自) 平成22年12月11日 (至) 平成23年11月30日		
事務所名	大宮国道事務所		
工事概要	本工事は、上尾道路建設に伴う軟弱地盤箇所における地盤改良、工事用道路及び仮囲い等の工事である。		
表彰理由 【工事】	本工事の施工箇所周辺は家屋が密集し、沿道住民の地先道路及び小・中学校の通学路が施工箇所を横断しているなど、特に生活環境に配慮を要する社会条件等の厳しい工事であった。 施工にあたり、仮囲いにより民地と工事箇所の区分を明確にした他、通学時においては誘導員を増員するなど十分な安全保を行った。また、軟弱地盤における地盤改良では、従来工法に比べ周辺変位を大幅に軽減が期待できる「有用とされる技術」である新技術(CI-CMC工法)を採用し、施工中は沿道周辺において動態観測及び地下水位、PH値の測定を行うなど綿密な施工管理を行い、品質・出来形について良好な施工を行った。 本工事にあたっては社会条件等の厳しい中、占用企業者等の関係機関及び沿道住民との連絡調整を密に行い、適切な工程管理を行った。また、沿道住民への影響を考慮し、土工・地盤改良時及びコンクリート取り壊し時に発生する防塵・騒音対策として、養生・防音シート、散水等による環境対策を行った。		
表彰理由 【技術者】	本工事が上尾道路未供用区間の最初に着手する工事であったことから、工事説明会の開催、周辺地域の清掃等による環境美化、地域広報誌の発行(毎月)、現場見学広場(おえかきひろば、アンケートコーナー、工事説明看板等)の設置、地元自治会納涼祭の櫓組み立てへの参加、災害備蓄品の寄贈等による積極的な地域住民とのコミュニケーションを行い、地元自治会から「お礼状」を授与されるなど公共事業に対するイメージアップを図りながら地域貢献に努めた。 また、施工においては新技術の採用、環境対策等を十分に行い、出来形・品質の良好な工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	けんおうどうふかまちこうかきょうじょうぶこうじよこがわ・ならさきとくていけんせつこうじきょうどうきぎょうたい 圏央道深町高架橋上部工事横河・檜崎特定建設工事共同企業体		
ふりがな 技術者名	いなえ きよつぐ 稲江 清継	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	けんおうどうふかまちこうかきょうじょうぶこうじ 圏央道深町高架橋上部工事		
工 期	(自) 平成21年10月3日 (至) 平成24年3月30日		
事務所名	北首都国道事務所		
工事概要	本工事は、一般国道468号首都圏中央自動車道の橋梁上部工の架設を行ったものである。・鋼上部工(桁製作・架設・床版)工事〔橋長536m(上り線)橋長227m(下り線)橋長259m(4号下り線)橋長215m(Cランプ橋)〕		
表彰理由 【工事】	本工事は、圏央道事業における、埼玉県久喜市北青柳地先にて鋼12径間連続少数鉸桁橋他3連の上部工架設工事である。 本工事の施工箇所は始点側に東北自動車道久喜ICの取付部、終点側は東北新幹線を跨ぐ施工位置となっていたため、橋脚高さが22mと高所かつ軟弱地盤のなかでの作業であった。また、JR委託工事の施工範囲が当該工事の一部となっていることもあり、JR工事との競合が発生した。このような施工条件の中、綿密な工程調整を積極的に行い、相互に協力することで工事を遅滞させることなく無事に完成させた。 品質管理においては、床版鉄筋に有機ジンクリッチペイント塗布鉄筋を使用し、高性能AE減水剤コンクリートを使用することで充填性の高い密実な床版に、壁高欄の目地部をシールすることで白華現象の発生を防ぎ、目地部地覆鉄筋に独自で補強鉄筋を入れて誘発クラック幅を減少させるなど、コンクリート打設における品質の向上にも努めた。		
表彰理由 【技術者】	本工事の一部がJR委託工事の施工との競合作業となっていたために当初の架設工程が大幅に遅れたが、それに対応した架設計画の立案・施工を行い、多彩な工程短縮案を模索し実施した。また、日々の調整会議等を積極的に実施し関係機関と綿密な架設工程の調整をすることで、トラブルもなく工期を厳守し完成させた。 工事中に発生した東日本大震災時には、落ちた屋根瓦を覆うため、防災シートをくばり地域への貢献に尽力した。また、現場周辺が水田であることから、作付け前に工事作業員全員で現場周辺一帯を清掃をするなどの美化活動を行ったほか、近接する小・中学校、高校や大学の生徒等幅広く現場見学の機会を設けるなど、近隣住民の圏央道事業への理解を深めることにも努めるなど、きめ細かい迅速な対応を行い、トラブルなく工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	かぶしがいいしやはさきけんせつ 株式会社波崎建設		
ふりがな 技術者名	しもだて ゆうき 下館 雄樹	職種	現場代理人・監理技術者
ふりがな 工事名	H23はさきちくごがんだい2さいがいふっきゅうこうじ H23波崎地区護岸第2災害復旧工事		
工 期	(自) 平成23年8月30日 (至) 平成24年3月16日		
事務所名	利根川下流河川事務所		
工事概要	本工事は、平成23年東北地方太平洋沖地震により被災した茨城県神栖市波崎地先の護岸延長440mの災害復旧工事を行うものである。主な工種は、広幅鋼矢板Ⅱw10.5m(728枚)、連節ブロック張(1695m ²)である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、民地との境界に接した狭隘な現場条件並びに潮位の干満の影響を克服するため、計画的な工程管理を行った。 また、積極的に新技術の活用や工事現場見学会の実施等、多くの創意工夫提案を行い、安全かつ作業効率の高い施工を行って工事を完成させた。 さらに、工事現場周辺の波崎地区については、利根川が近く近隣住民の憩いの場として利用されていることから、工事目的や工事内容について広報パネルなどを用いて積極的な広報活動を行った。また、地元の中学1年生を対象とした災害箇所現場見学会を開催する等、一般利用者への理解を得た。		
表彰理由 【技術者】	監理技術者においては、技術的な能力はもとより、現場見学会では独自に広報パネルを作成し解りやすい説明方法を工夫するなど、参加者への配慮に気を配った。 さらに、現場経験の少ない若い技術者のために工事の施工手順やKY活動などをより積極的に教授し、また、新規下請業者の指導等についても努め、工事の出来形・美観も良好であった。安全管理については、狭隘な現場での接触事故に特に留意し、重機の旋回やオペレーターへの注意喚起を心がけた。工事に多大な影響を与える潮位や気象状況について情報収集し安全かつ計画的な工事の完成に寄与した。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	しょーぼんどけんせつかぶしがいいしゃ ちばしてん ショーボンド建設株式会社 千葉支店		
ふりがな 技術者名	むらき じゅんぺい 村木 淳平	職種	監理技術者・現場代理人
ふりがな 工事名	はなみがわばしほしゅう・とそうこうじ 花見川橋補修・塗装工事		
工 期	(自) 平成22年10月1日 (至) 平成23年8月31日		
事務所名	千葉国道事務所		
工事概要	本工事は、一般国道357号花見川橋の補修工事である。主な工事としては支承部材製作工、断面修復工、剥落対策工、遮音壁補修工、伸縮装置補修工、橋梁塗装工である。		
表彰理由 【工事】	本工事は一般国道357号である花見川橋(上、下)における橋梁上部構造における補修工事であり、支承取替、断面修復、剥落防止、伸縮装置補修等工種が多岐に渡る工事となった。 施工に際し上下作業となり施工及び安全において困難が予想されたが優れた施工能力を発揮し、品質の向上にも努めた。常に発注仕様よりワンランク上の品質確保を目指し、新技術である伸縮継手における乾式止水材及び剥落防止における特殊ラミネートシート接着工法の採用などを含む数多くの創意工夫を積極的に提案し、優れた技術力を取り入れ良好な仕上がりを実証した。		
表彰理由 【技術者】	工事の目的を充分理解しており、入念な詳細調査を行い懸案事項についても積極的に複数の対策案を提案するなど専門的な技術力を発揮した。 また、複数の新技術を導入し品質向上に寄与するなど良好な施工に努めた。東日本大震災の際も自主的に周辺4橋梁の点検を行い、迅速に貴重な震災情報を提供するなど極めて優れた対応であった。		

完成又は施工状況写真



補修後完成状況



支承取替後状況

ふりがな 業者名	たけなかどうろ 株式会社竹中道路 東京本店		
ふりがな 技術者名	あまの きみひで 天野 公英	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	H23かんないきょうめんほかほそうしゅうぜんこうじ H23管内橋面他舗装修繕工事		
工 期	(自) 平成23年8月30日 (至) 平成24年3月29日		
事務所名	東京国道事務所		
工事概要	本工事は、管内の交差点部や橋梁橋面の道路路面の舗装修繕工事である。主な工種は、夜間施工による舗装切削オーバーレイなどであり、修繕箇所は5箇所に点在していた。		
表彰理由 【工事】	本工事の施工にあたり、舗装修繕箇所は、東京23区内に点在する交通量が多く、沿道環境もマンションなどが立地する厳しい現場条件から、沿道環境に対する騒音対策、並びに、一般交通への安全と円滑な通行の確保が重要であった。 特に玉川高架橋は鋼床版であり、夜間の舗装切削時における騒音対策が必要であると判断し、自社開発の新技术である「IH式舗装撤去工法」を技術提案での騒音対策、さらに、規制日数削減を図るため、交通管理者等との調整により比較的交通量の少ない土日限定45時間連続施工を行い、通常20日程度見込まれる規制日数を10日間に半減するなど交通への影響を大幅に軽減し、沿道住民及び一般交通の通行の確保に努めた。 また、「CBRマフラー」「3次元レーザースキャナーによる空間計測工法」の新技术を積極的に活用し、良好な施工体制及び施工管理より品質の確保とともに万全の安全管理をもって無事故無災害で工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	本工事の課題である沿道環境に対する騒音対策に新技术を活用するとともに、施工体制の強化による規制日数の削減を行い。さらに、積極的に新技术を効果的に活用するなどの取り組みにより課題解消を図った。 また、工事施工にあたり現場が点在していたため、輻輳する企業間調整等をリーダーシップを発揮して積極的に工程調整を行った。 以上、施工箇所が点在した沿道状況も厳しい現場条件において専門的な知識と技術力をもって課題の解消とともに良好な施工管理あたり品質の確保に努め工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真

玉川高架橋



新橋交差点



ふりがな 業者名	まえだけんせつこうぎょうかぶしきかいしゃ とうきょうどぼくしてん 前田建設工業株式会社 東京土木支店		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	さがみじゅうかんさがみがわばしかぶ(その2)こうじ さがみ縦貫相模川橋下部(その2)工事		
工 期	(自) 平成21年3月3日 (至) 平成23年10月18日		
事務所名	相武国道事務所		
工事概要	本工事は、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道(さがみ縦貫道路)の相模川橋において、P2橋脚、A2橋台及び仮設構台の施工を行ったものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、さがみ縦貫道路の相模川橋の高さ約40mP2橋脚2基(基礎はΦ=9.5m長さ約25mの深礎杭)及びA2橋台を施工する工事である。施工箇所は高低差が約55mある谷間地形の河川区域内で、現場条件の非常に厳しい急傾斜の法面に下部工を構築するため、大型の仮設構台を綿密な施工計画のもと2基設置し、十分な作業体制を整え本体工の施工を行った。 また工事用道路は閑静な住宅地の中を通過するが、この地区は、区画整理された住宅地にさがみ縦貫道路が計画されたことから、計画に対する反対が根強い地域で住民対応に非常に苦慮したが、除草や道路及び公園の清掃を行うなど丁寧な対策によりトラブルなく工事を進めることができた。 さらに、非常に厳しい工程の中で仮設構台の構造を変更するなど工期短縮に努力し、かつ無事故で工事を竣工させた。最後に公園清掃等の地域貢献活動が評価され地元自治会長より、表彰を受けている。		
表彰理由 【技術者】			

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	ただけんせつ かぶしきかいしゃ だいさんじぎょうほんぶ 多田建設株式会社 第三事業本部		
ふりがな 技術者名	うりた よしのぶ 瓜田 義信	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	H22ひらやまとこがためかいちくこうじ H22平山床固改築工事		
工 期	(自) 平成22年10月9日 (至) 平成23年5月31日		
事務所名	京浜河川事務所		
工事概要	本工事は、多摩川支川浅川5.2km付近(日野市豊田地先)において、老朽化した床固(左岸側)の改築及び低水護岸、高水護岸を施工したものである。		
表彰理由 【工事】	浅川は流域に山地が多く河床勾配が急であり、昭和30年代以降急速に市街地が発展したため、降雨の際に急激に水位が上昇する河川である。本工事は半川締切りにより施工するものであるが工事箇所の上流には取水・排水を兼務する樋管があり、取水に影響が無いよう土堤締切り等の仮設及び排水時の洗堀防止構造(大型土嚢による締切り)等の工夫を凝らした。 また、半川締切りを行ったヶ所に対岸から資材運搬路を設置するにあたり、渡河路の構造で、コルゲートパイプ設置以外の部分を低くすることで増水した水を安全に下流に流し、かつコルゲートパイプの流出を防ぎ短時間で復旧できる構造とするなどの工夫を凝らすことにより対応した。 構造物取り壊しにおいても、大型ブレーカーの使用に変えてコアボーリングを使用する等、積極的に騒音・振動に配慮した。さらに地域住民・河川利用者への情報提供も積極的に行い、出来映えも良く、無事故で工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】	本工事の施工にあたっては、急激に水位が上昇する浅川の締切、根固めブロック製作ヤードへの渡河路の設置が問題となったが、仮締切の施工方法、渡河路の設置方法を工夫し無事工事を完成させた。また、その方法を浅川で施工する他の建設会社にも情報を提供する等、浅川における工事全体の安全施工に寄与した。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	ちゅうぶどぼくかぶしきかいしゃとうきょうしてん 中部土木株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	ながい とよし 永井 豊司	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	さかわ2ちょうめでんせんきょうどうこうじ 酒匂2丁目電線共同溝工事		
工 期	(自) 平成21年11月17日 (至) 平成24年1月13日		
事務所名	横浜国道事務所		
工事概要	本工事は、一般国道1号の電線共同溝工事である。 開削土工 1式、本体布設工 1式、仮復旧工 1式、本復旧工 1式、仮設工 1式、排水工 1式、雑工 1式		
表彰理由 【工事】	本工事は、一般国道1号の小田原市酒匂地区L=約500mの電線共同溝本体布設および車道舗装の本復旧を行う工事である。 当該箇所は市街地に近接して住居や店舗が立ち並ぶ地域であり、狭い歩道内の既設水路撤去、占用工事との調整、苦情が多い地区での施工等、非常に困難な状況であったが無事故で竣工した。 また、沿道社会福祉施設主催のお祭りに自主的に参加、地元と話し合い、現場事務所を防犯用の避難場所として提供、商業施設に電線共同溝の模型を展示する等、地域に密着した事業のPRを積極的に行ったことで地元から大きな信頼を得た。 施工にあたっては、地元の歩道バリアフリー化等の要望に対して対応策を積極的に提案する等、本社技術部と連携し、工期内に工事を完成させた。 また、地盤支持力測定装置を使用し現場作業日数を短縮するなど工事を円滑に進めるための工夫が随所に見られた。		
表彰理由 【技術者】	当該箇所は市街地に近接して住居や店舗が立ち並ぶ地域であり苦情の多い地区での工事であったため、地元に対する工事PRを積極的に行い苦情対応等も迅速、丁寧に行うことにより円滑な工事施工に努めた。 また、沿線住民への電線共同溝の模型を使った説明や地域活動への積極的な参加を通じて地元住民からも大きな信頼を得た。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	かぶしがいしゃふじさわくみ 株式会社藤澤組		
ふりがな 技術者名	ほそだ ともゆき 細田 智之	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	H23まつもとじこうじ H23松本維持工事		
工 期	(自) 平成23年4月1日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	長野国道事務所		
工事概要	松本国道出張所管内一般国道19・20号において、道路の維持補修、緊急的な作業を行う道路維持工事である。 施工内容:道路巡回工、舗装補修工、法面工、除雪工、応急処理工、路面清掃工等		
表彰理由 【工事】	台風2号の影響による豪雨で法面崩壊が発生し、国道の安全を確保するための通行規制や災害復旧が必要となったが、24時間の連絡体制、出勤体制をとり迅速な対応を行った。 6月30日に発生した松本南部地震においては、緊急パトロール等を実施し、松本市平田地区における平田跨線橋の災害に対して緊急復旧を行う等、通行の安全確保に努めた。 また、標高の高い塩尻峠で除雪作業や路面凍結防止剤散布を実施する等、的確な対応を行った。		
表彰理由 【技術者】	災害緊急復旧工事での復旧対応や地震時における災害復旧作業での的確な判断で材料手配をするとともに現地状況に合わせた復旧工法を提案するなど精力的に関わり、安全に復旧工事を完成させた。 また、沿道住民からの様々な要望に対し、的確な判断と誠実な対応・作業を行い、国道での問題発生への理解に努め、年間を通じて、事故・トラブル等なく工事を完了した。		

完成又は施工状況写真

【台風2号による法面崩壊箇所の災害復旧】
【法面補修完成】

【規制状況】



ふりがな 業者名	につてつとピーぶりっじ かぶしきがいしゃ とうきょうえいぎょうしょ 日鉄トピーブリッジ株式会社 東京営業所		
ふりがな 技術者名	みた しゅうへい 三田 周平	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	けんおうどうあずまこうかきょうじょうぶそのよんこうじ 圏央道東高架橋上部その4工事		
工 期	(自) 平成22年9月22日 (至) 平成23年11月25日		
事務所名	常総国道事務所		
工事概要	本工事は、首都圏中央連絡自動車道の茨城県区間における延長約240mの高架橋上部工事である。主な工事としては、桁製作工、鋼橋架設工、合成床版工である。		
表彰理由 【工事】	圏央道東高架橋は、平成17年度より下部工事に着手し現在に至っているが、周辺が水田地帯であり地元農家の方々等の長年にわたるご理解・ご協力を得ながら工事を進めて来た。開通時期も近づく中で、現在の進捗状況の報告や日頃のお礼を目的に、見学会を開催することを受注者自ら発案し、見学会の計画策定、地元調整等を行った結果、見学者からも好評を頂き、地元とのコミュニケーションを図ることができた。 施工にあたっては、ヤード周辺のネットの設置や横断市道の清掃、散水による粉じん対策等、現場周辺へのきめ細かい配慮を行いながら施工を行った。 また、コンクリート打ち継ぎ面の処理等、品質向上に資する新技術の積極的な活用を行った。安全面でも支承仮置き時の転倒防止等、きめ細やかな工夫が実施され、現場内資材の整理整頓等も日常的に行い、作業員の安全確保に努め、無事故で工事を竣工させた。		
表彰理由 【技術者】	本工事の現場見学会時に説明用パンフレット作成や施工方法の説明を行い、その内容は簡潔かつ分かりやすい内容であった。 また、見学は見学者に床版上に登ってもらい行ったが、高所での見学であるため安全監視員を配置する等、見学者の安全を第一に考えた対応を行い、安心して見学会を任せられた。 施工にあたっては、ヤード周辺のネットの設置や横断市道の清掃、散水による粉じん対策等、現場周辺へのきめ細かい配慮を行いながら施工を行った。 安全面でも支承仮置き時の転倒防止等、きめ細やかな工夫が実施され、現場内資材の整理整頓等も日常的に行い、作業員の安全確保に努め、無事故で工事を竣工させた。 また、隣接工事と共有する工事用道路については、隣接請負者と協議会を設け調整		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	なかむらどけんかぶしがいいしゃ 中村土建株式会社		
ふりがな 技術者名	さかぬし あきひこ 酒主 明彦	職種	監理技術者・現場代理人
ふりがな 工事名	はんにやさわじょうりゅうさんぷくこうこうじ 般若沢上流山腹工工事		
工 期	(自) 平成21年6月5日 (至) 平成23年11月30日		
事務所名	日光砂防事務所		
工事概要	本工事は、鬼怒川右支川大谷川上流般若沢左岸部からの流出土砂の抑制及び山腹斜面の安定を図る為に計画された山腹工工事である。		
表彰理由 【工事】	本工事箇所の般若沢は、火山性の脆弱な地質からなる流域で、急峻な崩壊山腹斜面下の非常に厳しい現場条件下での作業であった。また、冬期間は積雪も多く休工期間となり、工程的にも厳しく、さらに概算・概略数量での発注で、本工事内で詳細設計を行い、その成果により施工を行うもので、工程管理も困難な工事であった。 この様な状況のなか、本業者は、詳細設計段階から新技術を用いた工法選択を行う等、積極的、建設的な取組で成果を取りまとめると共に、施工段階でも、急斜面下の作業時の安全対策として無人化機械施工を提案する等、工法選択、仮設計画にも工夫が見られ、施工後の排水処理を考慮し、排水路を設置する等、細部にも創意・工夫が見られ、全体的な出来映えも良好であった。		
表彰理由 【技術者】	本技術者は、脆弱で急峻な山腹斜面での施工にあたり、積極的に取組、安全性の向上を図るべく工法選択、施工方法を工夫し、良好な施工管理を行ない、その出来映えも良好なものであった。また、地域イベント・各種現場見学会についても、現場までの安全な通路の整備する等、準備段階から積極的に参加すると共に、当該工事についての説明を行う等、地域貢献も顕著であった。		
完成又は施工状況写真			
			

ふりがな 業者名	こうもこうぎょうかぶしかいしゃ 河本工業株式会社		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	りゅうのくぼりどころじ 龍ノ窪盛土工事		
工 期	(自) 平成23年4月1日 (至) 平成24年2月29日		
事務所名	湯西川ダム工事事務所		
工事概要	本工事は、ダム貯水池内において水位変動による地すべり防止対策を行う工事であり、主な工種は、砂防土工 1式(盛土51,200m ³ 、砂防ソイルセメント8,500m ³ 、法面整形4,200m ³) 法面工 1式(法面保護工 4,200m ³ 、かご工184m) 根固め工1式、仮設工1式である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、試験湛水開始に向けて設定された工程を遵守する必要があるため、この工程には最下段部の砂防ソイルセメントの施工期間を短縮することが重要であった。また、セメントの配合が貧配合であるため、安定した品質確保があわせて必要であったため、砂防ソイルセメントの攪拌作業機械にリテラ(自走式土質改良機、NETIS準推奨技術)の採用を提案した。さらに、工期短縮を図るため盛土工の綿密な工程計画を立案して、徹底した工程管理を行うなどの工夫をもって約1ヶ月の工事期間短縮を実現した。また、別途、同一法面の対策工として行なわれた、上部作業となる法面工事との工事調整を綿密に行い、万全の安全管理を行うことによって無事故無災害で工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】			

完成又は施工状況写真

ソイルセメント攪拌作業状況



湯西川下流より望む



ふりがな 業者名	いだてくのすかぶしきかいしゃ 伊田テクノス株式会社		
ふりがな 技術者名	えのもと ひろゆき 榎本 弘之	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	H22しょうわはいすいひかんかいちくこうじ H22昭和排水樋管改築工事		
工 期	(自) 平成23年3月30日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	江戸川河川事務所		
工事概要	本工事は、中川の水位上昇による氾濫を防止するための築堤整備を行うとともに、中川からの逆流防止、内水排除のための樋管を改築するものである。築堤(延長=約125m、盛土=約7,600m ³)、樋管(1.0m×1.0m×27.2m)、地盤改良(1式)		
表彰理由 【工事】	本工事は、河川土工、樋管本体工、地盤改良工、法覆護岸工を主な工種として施工を行ったものである。工事にあたっては、品質向上のための技術提案を積極的に行うとともに新技術の活用及び創意工夫を行い施工を行った。 樋管本体の施工では、コンクリート打設において門柱部で透明型枠を使用し、打設中に型枠内のコンクリートの状態を把握しながら施工を行い、コンクリートの品質向上を図った。また、新技術の活用においては、コンクリート打ち継ぎ部処理剤を使用して、打ち継ぎ部の耐久性の向上と作業の効率化を図った。 安全管理においては、組織的に安全管理に取り組み、KY活動とともに元請け職員、協力会社職員とも安全標語等を作成して、安全への啓発を図り、積極的な安全への取り組みを行った。 地域とのコミュニケーションを図るため、現場スペースに見学施設を設置して工事内容をわかりやすく説明するパネルを設置するとともに地域の方々の休憩スペースも設置した。		
表彰理由 【技術者】	実工期が11月からという厳しい施工条件の中、きめ細かな工程管理のもと、既設の水路や道路等に関する諸課題を解決し無事故で工期内に完成させた。 また、コンクリートの品質向上に創意工夫を凝らし、積極的に技術提案を行うなど現場の指導的役割を十分果たし出来映えもすばらしかった。 地域の生活環境を守るため、騒音振動計を設置し計測値をオープン化し、「工事の見える化」に積極的に貢献し地域とのコミュニケーションを図り、工事を円滑に進め地域からの評価も高く他の模範となった。		

完成又は施工状況写真

完了全景(中川より樋管を望む)



施工状況①



施工状況②



ふりがな 業者名	ひたちぞうせんかぶしがいいしやとうきょうほんしや 日立造船株式会社 東京本社		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	しんきばちくあけほのばしじょうぶこうじ 新木場地区曙橋上部工事		
工 期	(自) 平成22年2月23日 (至) 平成23年8月31日		
事務所名	首都国道事務所		
工事概要	国道357号新木場地区立体事業における曙運河を渡河する橋梁の上部工の製作、架設の工事である。主な工種は、工場製作工、架設工である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、国道357号及び首都高速道路湾岸線に挟まれた狭隘な地形において、国道357号曙橋上部工事であるが、当初設計では交通量の多い国道357号の交通規制を実施しながら架設を行う予定であったが、曙運河上から台船クレーンによる架設を提案し、国道357号の交通規制を行わずに架設を行った。 また、桁架設時においては、送出し架設桁の主桁数を2主桁から4主桁に変更する事により工期短縮を行い、首都高湾岸線、国道357号本線との接触を防ぐため、クレーン使用時においてはレーザーバリアによるクレーン旋回制限監視等を行い工事の安全化を実現した。 さらに、工事期間中に発した東日本大震災において送り出し装置の架台にずれが発生したが、即座に復旧し以後の架橋工事への影響を最低限にとどめ、優れた技術力を発揮し、工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】			

完成写真



海側上部



山側上部

ふりがな 業者名	しんにほんこうぎょうかぶしきかいしゃ 新日本工業株式会社		
ふりがな 技術者名	さかぐち ともひこ 坂口 智彦	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	さんごうななごうひがしやしおちくごがんこうじ 357号東八潮地区護岸工事		
工 期	(自) 平成23年3月26日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	川崎国道事務所		
工事概要	本工事は、国道357号東京港トンネル工事のシールドマシンが当該護岸上を通過できるよう、既設護岸の鋼矢板を引き抜き、支障とならない形式で新たな護岸を再構築するものである。主な工種は、既設鋼矢板撤去、地盤改良工、新護岸工(上部コンクリート)海側約25m、山側約25mを施工するものである。		
表彰理由 【工事】	潮の影響を受ける既設護岸の鋼矢板(約42m)を引き抜く作業では、作業の比較検討を行い、重機の搬入路を開拓し陸上から安全かつ適切に行った。使用材料については、波による洗屈を防止するため耐候性大型土のうを用いるなど創意工夫が見られ、海上の汚濁防止、環境保全にも積極的に努めている。引き抜き作業や地盤改良工においては周辺の構造物への影響に配慮し、構造物の挙動を計測しながら適切に行った。 また、5種類の新技术(高圧噴射攪拌工法(Ldis工法)、ハイパーネット等)を用いて施工を行っており、苦情・事故等もなく無事完成させた。		
表彰理由 【技術者】	監理技術者として、関係機関との対外調整において丁寧な説明に心掛ける等、相手への理解を深めて連携を図っており、現場での課題についても積極的に対策案を立案するなど良好な施工に努めた。 また、隣接する公園利用者に対して積極的にPRを行っており、公園内の園路を切り回す際にも、死角がないよう防犯カメラ・カーブミラーを設置するなど公園利用者への配慮も十分に行っている。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	おさだぐみどぼくかぶしがいいしゃ 長田組土木株式会社		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	H22ちゅうぶおうだんおしおちくかいりょうこうじ H22中部横断大塩地区改良工事		
工 期	(自) 平成23年3月25日 (至) 平成24年3月30日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
工事概要	本工事は、中部横断自動車道における南部町柳島地区で戸栗川を渡河する橋梁の下部工(橋台1基)及び函渠工(町道部)及び塩沢地区で本線部盛土工、函渠工(水路部)等を施工する工事である。		
表彰理由 【工事】	本工事の戸栗川橋橋台の施工着手前には、隣接する斜面に抑止杭を施工する必要があった。当該斜面は降雨や台風により数回崩落を起こしたがその都度、状況報告と合わせ応急対策を行うなど積極的な協力を行った。抑止杭の施工においても崩落した当該斜面の状況を反映した工法の提案を行った。また、戸栗川橋橋台部近傍にある用水路が台風により崩壊し復旧工事を南部町が行う際に、その部分の施工に影響を与えない基礎杭の施工方法の提案を行うとともに、積極的に工程調整を行い本工事の工程を遅延させることなく橋台を施工した。 また、塩沢地区の本線部盛土工において、他工事の発生土を再利用する際に大型車両運行の有無についてLEDを使用した電光掲示板を設置し、周辺住民の方々へ周知を図り、十分な安全対策を実施し工事を行った。本工事は、施工箇所が2箇所となっていたが配置技術者の増員を図るなど対策し、無事故で工期内に工事を完成させた。		
表彰理由 【技術者】			

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	すだけんせつかぶしきかいしゃ 須田建設株式会社		
ふりがな 技術者名	じんぼ みちひろ 神保 道弘	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	H23ふじわらだむいじこうじ H23藤原ダム維持工事		
工 期	(自) 平成23年4月1日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	利根川ダム統合管理事務所		
工事概要	本工事は、藤原ダム管理支所管内において、ダム管理上必要な維持修繕工事を行い、年間を通して必要な緊急的作業に対応する工事である。また、主な工事としては、出水に伴う流木処理や除草・除雪・道路補修等を実施するものである。		
表彰理由 【工事】	平成23年7月新潟・福島豪雨では、利根川上流域において72時間雨量が631mmに達し、藤原ダムにおいては、管理開始以来最大の流入量を記録し、例年にない膨大な量の流木の流入が確認され、ダム管理上緊急的な対応の必要が生じた。当該工事においては、その緊急性・重要性を認識し、速やかな施工体制を確保した作業並びにバイオマス発電への有効利用のため、福島第一原子力発電所事故に起因する放射能基準値の確認などの取り組みが見られた。 当該地域は、群馬県北部に位置した豪雪地域であり、平成23年度においては、例年並みの降雪量(770cm)であり、低気温状態が続く中、気象状況に留意して現地の積雪状況を細かく把握し、作業時間帯や作業員の安全性に配慮した施工がなされた。 また、緊急的に発生した道路補修についても、国道17号線現道上で交通量の多い悪条件の中、スムーズな対外調整と適切な安全管理を行い、第三者からの苦情や事故も無く作業を完了させた。		
表彰理由 【技術者】	ダム周辺の環境特性を熟知しているとともに地域とも精通しており、ダム管理にともなう定常的な作業に対する知識が豊富である。また、下請けに対する技術的指導や安全管理も徹底されていた。 監理技術者の知識や経験を元とした独自の工夫や対策(流木の収集方法に関する工夫や事故防止・環境対策型建設機械の利用など)を積極的に提案し、工事の効率性・安全性の向上に努めた。 さらに、地域における宝台樹ジュニアカップサッカー大会の準備協力やイメージアップとして藤原湖マラソン大会前夜祭への協賛、ダム周辺の清掃等を積極的に実施し、水源地域の活性化に寄与した。		

完成又は施工状況写真

流木処理状況



道路補修状況



ふりがな 業者名	かぶしがいいしゃのざわじつぎょう 株式会社野澤實業		
ふりがな 技術者名	うと ひでお 宇都 日出夫	職種	監理技術者・現場代理人
ふりがな 工事名	H23いかりだむかんないじこうじ H23五十里ダム管内維持工事		
工 期	(自) 平成23年4月1日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	鬼怒川ダム統合管理事務所		
工事概要	本工事は、五十里ダムの機能維持、河川管理区域の適正な管理するための維持工事である。		
表彰理由 【工事】	本工事は、五十里ダムの上流から下流までの広範囲での施工範囲でかつ工種も多様な作業であったが、工程管理を適切に行い工事を無事故・無災害で完成させた。当工事箇所は観光地でもあり地元との密接な場所であり調整及び施工に関しても地元住民の方々の協力を得るため地元との意思疎通が重要な工事であり適切な対応をとっていた。また、地元貢献もゴミ拾いや草刈り等貢献度も大きかった。さらに、ダム下流の管理用道路の出水による応急復旧にも迅速且つ適切な施工体制により作業を実施した。		
表彰理由 【技術者】	工事を適正に進捗させるための工程管理を十分に行い、施工管理、安全管理など主導的な役割を行うとともに地域住民とのコミュニケーションをとり意思疎通を行った。また、地域貢献も行い地域に関わりの大きな維持工事としての役割を果たした。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	すずめいこうぎょうかぶしきかいしゃ 鈴縫工業株式会社		
ふりがな 技術者名	おおいし つよし 大石 剛	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	かしまこうがいこうちくがいこうこうろふっきゅうこうじ 鹿島港外港地区外港航路復旧工事		
工 期	(自) 平成23年7月5日 (至) 平成23年10月14日		
事務所名	鹿島港湾・空港整備事務所		
工事概要	本工事は、鹿島港外港航路及び中央航路の浚渫工、土捨工を施工するものである。 浚渫工 グラブ浚渫 計画水深(-21.5m) 24,000m ³ 土捨工・土運船運搬工 一式 バックホウ揚工 一式		
表彰理由 【工事】	本工事は、東日本大震災で埋没の影響を受けた外港航路等の復旧工事である。震災後とはいえ鹿島港は石油コンビナート等が立地している工業港であり、入出港する船舶数は管制船(船長190m以上)以外は徐々に震災前の状況に回復する傾向が見られていた時期での施工であった。 そのため、施工実施前には、鹿島海上保安署、港湾事務所及び立地企業関連会社を集めて、工事の説明会を開催し、復旧工事への協力依頼と工事の周知徹底を図るとともに、航路浚渫時に於いては、大型船舶航行時には航路外へグラブ浚渫船を退避させるなど、航行船舶の安全を十分に確保した。 また、本工事は航路水深-21.5mでの早期供用が望まれていたことから、気象海象予測を入手し、予測に対応できる浚渫作業と土砂運搬作業のサイクルの組み合わせを検討し、無駄な時間を省く工夫により、工期を厳守し大型原油タンカーを予定通り入港させることができた。 また、工期短縮と手戻り防止のため、余掘厚50cm、掘削管理はソナーとレッドの二重管理を行い、工期内に手戻り業務も生じることなく、規格値内で完成させることができた。		
表彰理由 【技術者】	① 鹿島海上保安署管制と連絡を密に取り、グラブ浚渫船と一般船舶(入出航)の調整を行い、航行に支障が無い様、施工を行った。 ② 鹿島石油(株)発注のアンローダー復旧の起重機船と当工事のグラブ浚渫船が同一施工場所で稼働するため、相互の連絡調整を密に取り、工期内完成に努めた。		

完成又は施工状況写真



ふりがな 業者名	とうあけんせつこうぎょうかぶしかいしゃ とうきょうしてん 東亜建設工業株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	なかむら まさのり 中村 正憲	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	とうきょうこくさいこうこうしーかつそうろみなみがわえんしんぶれんぞくちゅうへきちくぞうこうじ 東京国際空港C滑走路南側延伸部連続地中壁築造工事		
工 期	(自) 平成23年9月16日 (至) 平成24年3月26日		
事務所名	東京空港整備事務所		
工事概要	本工事は、東京国際空港C滑走路を南側へ約360m延伸する事業に先立ち、延伸部の廃棄物埋立区域から廃棄物の拡散防止を図るため34m地盤を掘削し、固化液注入・攪拌混合により等厚で遮水性と強度が高い、連続した地中壁を270m造成するものである。		
表彰理由 【工事】	航空保安無線施設の制限区域内であるため、滑走路を閉鎖する夜間の限られた時間内に施工機械で工事を行い、日々制限区域外へ待避するなど制約条件が厳しいなかで、 ①固化液注入量だけでなく攪拌度合いを計測・把握 ②既設造成部との全深度でのラップ長管理、サンプラーによる根入れ長管理を実施 ③GNSSで施工速度を計測し、進捗状況の把握と作業終了・待避における時間を管理 ④施工機械1台当たりの負荷軽減、施工速度向上のため、4台の施工機械を投入 ⑤施工機械の故障回避のため、点検頻度の増加、故障を想定した退避訓練の実施 ⑥施工位置情報の計測・警報機能により、工事区域外への誤進入を防止 ⑦日々作業終了後、航空機の運航に支障ないよう新技術等による表土の飛散防止対策 などの品質管理・施工管理・安全管理の様々な工夫により、連続した地中壁270mを無事故・無災害で造成した。		
表彰理由 【技術者】	本推薦人は監理技術者として、連続した地中壁270mの造成工事を無事故・無災害で完遂するため、品質管理・施工管理・安全管理の様々な工夫を行った。		

完成又は施工状況写真



(連続地中壁造成状況)

国土交通省 関東地方整備局

平成23年度 優良工事等局長表彰について

記者発表資料（参考資料）

平成23年度 優良業務及び優秀技術者局長表彰
の概要及び推薦理由

業務番号-1

ふりがな 業者名	ざいだんほうじんかせんじょうほうせんたー 財団法人河川情報センター		
ふりがな 技術者名	くりき　みのる 栗城　稔	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23かんとうちほうせいびきょくかんないすいもんかんそくでーたひんしつしょうさぎょうむ H23関東地方整備局管内水文観測データ品質照査業務		
履行期限	(自) 平成23年5月2日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	河川部		
業務概要	本業務は、河川計画策定及び河川管理を行う上で重要な基礎資料となる水文観測データ(雨量、水位、流量)の品質を確保するため、関東地方整備局管内の観測所の水文観測データの照査を行うとともに、学識経験者等から構成される品質管理組織による観測データの審議に係わる運営支援を行う。		
表彰理由	本業務の履行にあたって、水文観測データ品質照査要領による照査を適切に行った上で、高い積極性と責任感で専門的知識を十分に活かし独自の判断基準をふまえ照査を行うことで水文観測データの品質の向上に努め、さらに現地調査を行った結果により、現場の観測環境の改善箇所など観測品質の向上のための提案が行われた。 資料については、照査項目ごとに結果がわかりやすく必要十分な内容がまとめられており、品質管理組織による審議運営を円滑に行うことができた。		

業務番号-2

ふりがな 業者名	かぶしきがいしゃあい・でいー・えー 株式会社アイ・ディー・エー		
ふりがな 技術者名	くわさわ のりゆき 桑沢 敬行	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23わたらせがわごうりゆうてんふきんはんらんたいおうけんとうぎょうむ H23渡良瀬川合流点付近氾濫対応検討業務		
履行期限	(自) 平成23年4月21日 (至) 平成24年2月28日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
業務概要	利根川と渡良瀬川との合流点付近(板倉町、加須市北川辺地域)を対象として、利根川や渡良瀬川が氾濫し、想定を超えるような洪水災害が発生した場合においても、人的被害をゼロにすることを目指し、住民の避難行動の観点から効果的な避難対策および支援策について検討したものである。		
表彰理由	本業務の目的を理解し、過年度実施した業務の水理解析、氾濫・避難シミュレーションや住民アンケートの結果を活かし、洪水犠牲者ゼロを実現するために防災リーダー研修を通じた取り組みを具体化した。防災リーダー等が主体的に進められる普及啓発のしくみづくりとして、洪水防災の普及啓発ツールとなる「洪水防災DVD」や「動く洪水ハザードマップ」などの分かりやすく誰でも使える教材を作成し、継続的な地域の啓発活動に資するとともに、新たなコミュニケーションチャンネルへのアプローチによって、学校関係者において防災教育の教材として普及啓発ツールを活用されることとなった。また、検討項目の迅速な遂行や指示事項への対応において、十分な技術力・コミュニケーション力を発揮し、責任感を持ち積極的に業務に取り組み十分な成果をあげた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-3

ふりがな 業者名	かぶしがいいしゃけんせつかんきょうけんきゅうじょ 株式会社建設環境研究所		
ふりがな 技術者名	たけやま なおふみ 武山 直史	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23たまがわ・つるみがわみずべげんちようさ(ぎょるい・かせんかんきょうきず)ほかぎょうむ H23多摩川・鶴見川水辺現地調査(魚類・河川環境基図)他業務		
履行期限	(自) 平成23年4月5日 (至) 平成24年3月23日		
事務所名	京浜河川事務所		
業務概要	本業務は、河川水辺の国勢調査の一環として、多摩川の魚類調査、鶴見川の河川環境基図作成調査を行う他、鶴見川の環境情報図の更新、希少生物モニタリング調査、多摩川の永田地区、二子玉川地区他3地区における環境調査、堤防植生分布調査(春季)、谷地川での水環境実験施設モニタリング調査及び、河川水辺の国勢調査HP公開資料作成を行うものである。		
表彰理由	多岐にわたる業務項目を適切な時期に高精度に実施する上で、各分野毎に専門チームの体制を構築し並行して調査を実施した。また、円滑な業務遂行のために社内業務担当者の他、社内50名のメーリングリストを開設し発注者からの指示・協議事項等の情報を全員が共有すると共に第三者チェックの実施、メールの活用による発注者との密なコミュニケーションを行う等のワンデーレスポンスを遂行した。また、社内照査、精度管理等の社内品質管理の徹底を行う等、成果品の品質確保の取り組みも十分に図った。更に、より正確な河川環境調査等を実施するため、自主的に調査地点、調査範囲等を広げた調査を実施し成果をより拡充させた他、市民活動に自主的に参加し、市民の河川環境に対する認識や河川環境保全の必要性についての理解の把握も行った。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-4

ふりがな 業者名	ぱしふいっくこんさるたんつかぶしがいいしゃ しゅとけんほんしゃ パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏本社		
ふりがな 技術者名	まつだ こういち 松田 浩一	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23さがみがわじぎょうひょうかけんとうぎょうむ H23相模川事業評価検討業務		
履行期限	(自) 平成23年6月22日 (至) 平成24年1月31日		
事務所名	京浜河川事務所		
業務概要	本業務は、相模川における河川改修事業について、事業評価マニュアルに基づき氾濫解析シミュレーション及び費用対効果の算定等を実施し、事業評価に係る検討を行うものである。		
表彰理由	相模川の河道特性、流域特性、洪水被害特性を十分に理解した上で、改修事業について事業評価マニュアルに基づき検討するにあたり、流域特性を考慮した氾濫計算メッシュの見直し、現地踏査やLPデータ等により、河道状況や大規模構築物を詳細に把握し、氾濫シミュレーションの精度向上に努めた。 また、氾濫シミュレーションを用いて、避難所への浸水状況を時系列で整理するなど、きめ細やかな対応を行い、満足のいく成果をとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-5

ふりがな	H23とねがわじょうりゅうはんらんりゅうよそくしすてむけんとうぎょうむかせんじょうほうせんたー・ぱしふいっくこんさるたんつ		
業者名	H23利根川上流氾濫流予測システム検討業務河川情報センター・パシフィックコンサルタンツ		
ふりがな	さとう ひろあき	職種	管理技術者
技術者名	佐藤 宏明		
ふりがな	H23とねがわじょうりゅうはんらんりゅうよそくしすてむけんとうぎょうむ		
業務名	H23利根川上流氾濫流予測システム検討業務		
履行期限	(自) 平成23年4月20日 (至) 平成23年12月27日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
業務概要	利根川上流河川事務所が保有する洪水氾濫予測システムにおいて、CommonMP対応を検討し、ラッピング及び要素モデルの作成及びOS移行の対応、操作性・フィードバック機能等の改良を実施しシステムの向上を行うものである。		
表彰理由	本業務遂行にあたっては、現地状況及び過去の出水状況等を十分把握し、洪水氾濫予測システムに期待する機能が十分に発揮できるようシステム改良が行われた。特に操作性について「マニュアルモード」と「オートモード」の構築を提案し、出水時の場面に応じた対応が簡易に行えるよう工夫がされている。また、CommonMPの操作講習会を実施し、職員による実際の操作から課題点などを抽出し改良を加えるなど更なる性能向上が図られた。このように、本業務の目的を十分に理解することはもとより、業務全般に渡り、積極的な取り組みと有用な提案が随所に見られ、優れた成果を上げることができたことは、特出して評価できるものである。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-6

ふりがな	かぶしきがいしゃけんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしや		
業者名	株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな	なかや あきひこ	職種	管理技術者
技術者名	中谷 明彦		
ふりがな	H23とねがわじょうりゅうぶちすいけんとうぎょうむ		
業務名	H23利根川上流部治水検討業務		
履行期限	(自) 平成23年4月5日 (至) 平成24年3月23日		
事務所名	利根川ダム統合管理事務所		
業務概要	本業務は、近年頻発する局地的な豪雨や、今後予想される地球温暖化の影響など、気候変動が今後の河川管理に与える影響について懸念されていることを踏まえ、気候変動に対応した洪水調節施設の活用という観点から、降雨流出特性を踏まえた上流ダム群の治水計画について検討するものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、過去に実施された各種検討により得られた資料や成果を十分に把握し、検討目的や課題を明確にした上で、調査職員とも十分協議し検討を進めた。また、業務内容が多岐に渡るが、複数の担当技術者が組織的かつ管理技術者の総括の基、迅速に正確に検討が執り行われ良好な成果を工期内に納めた。 特に、短期間に成果を必要とした、ハッ場ダム建設事業の検証における治水対策効果算出、平成23年の台風12号等のダム調節効果算出においては、検討目的や課題を十分に理解し、迅速に期限内に成果をとりまとめた。また、過去に事例のない東日本大震災による堤防被災に配慮した洪水調節施設運用の可能性の検討においては、検討目的や課題を十分に理解し、分かりやすく成果をとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-7

ふりがな 業者名	かぶしきがいしゃ にっすいこん とうきょうししよ 株式会社日水コン 東京支所		
ふりがな 技術者名	おかだ としはる 岡田 敏治	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H22なかがわみずかんきょうちょうさけんとうぎょうむ H22那珂川水環境調査検討業務		
履行期限	(自) 平成22年4月14日 (至) 平成23年7月15日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
業務概要	本業務は、那珂川(支川を含む)の改修等に伴う水環境の変化について、水理・水質観測を実施し、汽水域の水質シミュレーションモデルの改良、改修等による汽水環境影響について検討・評価を行うものである。		
表彰理由	改修等による汽水環境影響の検討では、那珂川下流部の汽水環境の特性を的確に分析・検討を行い、難易度の高いシミュレーションモデルの検討を進捗させた。地震後の河床状況の調査及び影響検討にあたっては、迅速に簡易横断測量を実施し汽水環境の地震による影響の分析、今後の検討課題の抽出をおこなった。 また専門家へのヒアリングにおいて指摘された課題等や発注者からの緊急の指示にも迅速・適切に対応した点も高く評価する。本業務の遂行にあたり、業務の目的・内容を十分理解し実施体制が充実されていたことと、専門家へのヒアリングによる最新の知見に基づいた調査検討が行われたことから、業務成果として非常に完成度の高いものであった。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-8

ふりがな 業者名	かぶしきがいしゃ にっすいこん とうきょうししよ 株式会社日水コン 東京支所		
ふりがな 技術者名	こいずみ ひろまさ 小泉 浩正	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	くじがわかりゅうしんさいおうきゅうたいさくぎょうむ 久慈川下流震災応急対策業務		
履行期限	(自) 平成23年 3月19日 (至) 平成24年 3月15日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
業務概要	本業務は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う久慈川下流の堤防の災害発生箇所において、現地調査を行い被災状況を整理するとともに、被災箇所毎に個々に復旧工法を検討を行うものである。		
表彰理由	本業務の遂行にあたって、地震による突発的な災害に対応し、被災した堤防について早期の被災箇所の調査、既存資料の確認を行うとともに被災箇所毎の復旧工法の検討がおこなわれた。 特に早急な復旧対策完了のため、速やかな対応で工事に反映し業務遂行に積極的に取り組み、復旧工法の設計を実施するとともに、下流部における津波時の水門・樋管の遠隔操作検討を取りまとめた。以上のような取り組みを行った結果、非常にわかりやすい成果品が取りまとめられた。		

ふりがな 業者名	やちよえんじにありんぐかぶしがいいしゃ いばらきじむしょ 八千代エンジニアリング株式会社 茨城事務所		
ふりがな 技術者名	たけうち ひろき 竹内 博輝	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	なかがわかりゅうしんさいおうきゅうたいさくぎょうむ 那珂川下流震災応急対策業務		
履行期限	(自) 平成23年 3月19日 (至) 平成24年 3月30日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
業務概要	本業務は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う那珂川下流の堤防の災害発生箇所において、現地調査を行い被災状況を整理するとともに、被災箇所毎に個々に復旧工法を検討を行うものである。		
表彰理由	本業務の遂行にあたって、地震による突発的な災害に対応し、被災した堤防について早期の被災箇所の調査、既存資料の確認を行うとともに被災箇所毎の復旧工法の検討がおこなわれた。 特に、被災要因等のメカニズム検討にあたっては、液状化における多数の要素を持ち合わせた厳しい条件の箇所において復旧工法の設計及び下流部における津波時の水門・樋管の遠隔操作検討を取りまとめた。 以上のような取り組みを行った結果、非常にわかりやすい成果品が取りまとめられた。よって、本業務を優良業務及び優秀技術者として表彰するものである。		

ふりがな 業者名	ふじぎけんせんたー かぶしがいいしゃ 富士技研センター株式会社		
ふりがな 技術者名	ふるや よしのぶ 古屋 美伸	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23かんないきょうりょうほしゅうせつけいぎょうむ H23管内橋梁補修設計業務		
履行期限	(自) 平成23年8月5日 (至) 平成24年3月25日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
業務概要	本業務は、常陸河川国道事務所管内における道路橋について、劣化・破損等の状況を把握し、補修実施設計を行うものである。 また、本業務において、H23.3.11東北地方太平洋沖地震により、甚大な被災を受けた国道6号日立バイパス旭高架橋の被災状況の詳細調査、検討をおこない、研究機関との技術相談資料の取りまとめ、及び補修設計をおこなった。		
表彰理由	緊急的な震災対応の補修設計に迅速に対応し、特に旭高架橋の補修については、予定のスケジュール内で研究機関との技術相談資料を取りまとめ、期限までに詳細設計を完了させた。研究機関からの課題に対しても臨機に対応し、わかり易く資料を取りまとめた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-11

ふりがな 業者名	こうえきざいだんほうじんりばーふろんとけんきゅうじょ 公益財団法人リバーフロント研究所		
ふりがな 技術者名	まえむら よしお 前村 良雄	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23ちいきとれんけいしたきぬがわがいらいしゅたいさくけんとうぎようむ H23地域と連携した鬼怒川外来種対策検討業務		
履行期限	(自) 平成23年7月21日 (至) 平成24年3月26日		
事務所名	下館河川事務所		
業務概要	本業務は、鬼怒川中流部における礫河原の持続的な維持を目的とし、外来植物の除去と礫河原固有種の保全等について、地域住民が主体となった対策およびその促進施策を検討するものである。		
表彰理由	本業務遂行にあたり、地域住民が主体となった持続可能な外来植物の除去と礫河原固有種の保全活動の促進を図るため、具体的な外来種対策の実施方を企画立案し、持続可能な外来種対策のあり方を整理した。また、地域の活動に積極的に参加し、懇談会運営補助を行い、地域住民の信頼を得て住民・研究者・行政の連携をより強固にし、かつ取り組みの輪の拡大を図ることができた。さらに次世代に繋げるために小学生用のわかりやすいパンフレットの作成、また活動の一助となる「鬼怒川便利帳」を作成するなど、きめ細かい配慮をしつつ本業務の目的を十分理解し、非常に良好な成果を収めた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-12

ふりがな 業者名	かぶしきがいしゃおりえんたるこんさるたんつ いばらきむしょ 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 茨城事務所		
ふりがな 技術者名	かわさき はじめ 川崎 始	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	H23はいでいしよりちじぎょうかけいかくけんとうぎようむ H23排泥処理地事業計画検討業務		
履行期限	(自) 平成23年11月15日 (至) 平成24年3月30日		
事務所名	霞ヶ浦河川事務所		
業務概要	霞ヶ浦浚渫事業の排泥処理地である甘田入・西の洲地区は、浚渫土の排泥後、覆土を施工し、耕作地として復旧することとなっている。 本業務は、耕作地への復旧に向け、甘田入・西の洲地区の動態観測、地質調査、および施工計画検討を行ったものである。		
表彰理由	本業務を遂行するにあたり、排泥処理地に関するこれまで変遷してきた工事履歴を整理し、動態観測結果、圧密沈下解析結果より耕作地復旧整備の問題点、対策工を提案した。また、甘田入地区については、現地調査を十分にした上で沈下促進区域の確定、土壌改良の問題点等を配慮した検討が行われた。 報告書成果についても、コンタ図等を用いて視覚的にもわかりやすくとりまとめられ、業務に対する取り組み姿勢が他業務への模範となるものである。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-13

ふりがな 業者名	みついきょうどうけんせつこんさるたんとかぶしがいいしゃ きたかんとうじむしょ 三井共同建設コンサルタント株式会社 北関東事務所		
ふりがな 技術者名	すずき たけし 鈴木 武	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23ちいきこうつうれんけいけいかくけんとうぎょうむ H23地域交通連携計画検討業務		
履行期限	(自) 平成23年10月1日 (至) 平成24年3月20日		
事務所名	宇都宮国道事務所		
業務概要	本業務は、栃木県内各地域の活性化に資することを目的として、各地域が抱える課題を把握・整理し、それらの課題のうち道路分野から連携・支援が出来る課題を抽出して支援方策を検討するものである。また、国道4号黒磯バイパス(仮称)の整備の必要性和整備効果について、取りまとめたものである。		
表彰理由	本業務の目的・趣旨を十分理解し、各地域が抱える課題を既存資料によりの確に抽出するとともに、県内各市町にアンケート調査、ヒアリングを実施することにより課題把握を行い、業務の目的である支援方策案の提案を行った。 また、国道4号黒磯バイパス(仮称)の検討においても、防災上の必要性に焦点を当てるなど、整備の必要性和整備効果が地域住民にも分かり易い資料として取りまとめた。 さらに、管理技術者を中心に業務実施体制を整え、発注者との連携を密にし適切に業務を遂行するとともに、目的に即した成果をとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-14

ふりがな 業者名	いっぽんざいだんほうじん さほうふろんていあせいびすいしんきこう 一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構		
ふりがな 技術者名	いのうえ きみお 井上 公夫	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23わたらせがわりゅういきだいきぼどしゃさいがいききかんりけいかくけんとうぎょうむ H23渡良瀬川流域大規模土砂災害危機管理計画検討業務		
履行期限	(自) 平成23年5月20日 (至) 平成24年2月29日		
事務所名	渡良瀬川河川事務所		
業務概要	本業務は、渡良瀬川河川事務所砂防管内において、地震・豪雨等に伴う大規模な土砂災害発生に対する被害の軽減、もしくは拡大防止を目的に、国と地方公共団体との連携方策を検討し、関係機関で合同防災訓練等を通じて地域防災計画と整合させた渡良瀬川河川事務所大規模土砂災害危機管理計画の策定検討を行うものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、渡良瀬川砂防管内の関係市町村で構成する「渡良瀬川における大規模土砂災害対策連絡会」にて協議を重ね及び合同防災訓練等を通して、地域防災計画と整合させた渡良瀬川河川事務所の大規模土砂災害危機管理計画の策定を行うものであるが、優れた調整能力、業務遂行能力を発揮し、実践的な合同防災訓練と地元自治体との適切な連絡調整を図り、的確に業務を遂行し、良好な成果を納めた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-15

ふりがな 業者名	いっぽんざいだんほうじんさぼうじすべりぎじゅつせんたー 一般財団法人砂防・地すべり技術センター		
ふりがな 技術者名	はしのき としひろ 栢木 敏仁	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	えいちにじゅうさんとねさぼうかざんさぼうけいかくけんとうぎょうむ H23利根砂防火山砂防計画検討業務		
履行期限	(自) 平成23年6月2日 (至) 平成24年3月12日		
事務所名	利根川水系砂防事務所		
業務概要	本業務は、既往検討成果を基に浅間山の火山噴火を想定した火山砂防計画(緊急減災対策)に係る事業計画検討を行うと共に、事業計画評価に資する各種資料のとりまとめを行った。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、浅間山の緊急減災対策を検討するにあたり、地域の概要から災害履歴、費用対効果の分析等、事業実施に伴う多様な検討が求められたにもかかわらず、業務目的・内容を十分理解し、高度な専門技術力をもって工期内に業務を成し遂げた。有益な検討結果については、平成24年度より浅間山直轄砂防事業に着手するにあたっての基礎資料として活用された。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-16

ふりがな 業者名	だいにっぽんこんさるたんとかぶしがいいしゃ とうきょうししゃ 大日本コンサルタント株式会社 東京支社		
ふりがな 技術者名	ふじた えいじ 藤田 英司	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23がいかんこうじかんけいしりょうけいかくけんとうぎょうむ H23外環工事関係資料計画検討業務		
履行期限	(自) 平成23年8月30日 (至) 平成24年3月30日		
事務所名	首都国道事務所		
業務概要	本業務は、東京外かく環状道路(千葉県区間)の施工に必要となる工事計画詳細検討及び工事仮設計画検討等を行い、工事関係資料の作成を行うものである。 また、工事から発生する掘削土砂を港湾埋め立て地域へ海上運搬実現可能とするため、掘削土砂海上運搬計画の検討を行うものである。		
表彰理由	本業務において、外環掘削により発生する膨大な自然由来の重金属混じり土の搬出及びリサイクルの実現に向けた課題に対し、従来にない視点から、建設発生土の処分計画の立案及び検討を行った。 具体的には、重金属混じり土を海洋汚染防止法に基づき海上埋め立て土(福島県小名浜港)で利用するため各種埋め立て条件を克服するための対応を検討し、土砂のリサイクル利用の実現に向けた道筋を整理したことにより、大幅なコスト縮減が可能となるなど、画期的な土砂処分計画を取りまとめた。 これらの検討にあたっては、本業務の目的を十分理解し、積極的な技術提案を行うなど、業務内容が極めて優秀であった。		

ふりがな 業者名	やちよえんじにありんぐかぶしがいいしゃ そうごうじぎょうほんぶ 八千代エンジニアリング株式会社 総合事業本部		
ふりがな 技術者名	うえだ だいぞう 植田 大造	職種	管理(主任)技術者
ふりがな 業務名	へいせい23ねんどあらかわかわりゅうほぜんすいしんけんとうぎょうむ 平成23年度荒川下流河川保全推進検討業務		
履行期限	(自) 平成23年9月23日 (至) 平成24年3月30日		
事務所名	荒川下流河川事務所		
業務概要	本業務は、荒川下流部における治水、自然環境、河川利用等の機能を確保する対策を検討するため、河川状態把握の結果を整理し河川状態の変化分析・評価を行うとともに、今後改善が必要な課題等の検討を実施するものである。		
表彰理由	本業務は、多岐に渡る業務内容であったが、目的を十分理解し、基礎資料をまとめ、河川保全に関する関係者からの情報収集を図りつつ、河川状態把握結果を的確に整理・分析・評価し、改善点の抽出ならびに技術力に裏付けされた優れた対応策を提示したことから評価するものである。 特に、「荒川下流河川保全推進PT会議資料(案)の作成」においては、会議の趣旨を十分理解し、工程管理を行いながら毎月1回の会議議題毎に適切でわかりやすい資料の作成を行った。また、「荒川下流河川維持管理計画(案)の作成」においては、荒川下流部の地域特性、これまでの維持管理等の実施状況を踏まえ、短い期間の中での加筆修正にも迅速かつ正確に対応した。		

ふりがな 業者名	かぶしがいいしゃふっけんえんじにやりんぐ 株式会社復建エンジニアリング		
ふりがな 技術者名	まえかわ しゅういち 前川 修一	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23しんじゅくえきみなみぐちちくどうろけいたいけんとうほかぎょうむ H23新宿駅南口地区道路形態検討他業務		
履行期限	(自) 東京都新宿区新宿3丁目 (至) 東京都新宿区西新宿1丁目		
事務所名	東京国道事務所		
業務概要	本業務は、国道20号新宿地区の基盤整備事業について、最適な道路整備計画の検討及び将来の道路形態を検討した結果を道路計画の基礎資料とするものである。		
表彰理由	本業務の検討にあたって周辺の交通状況を具体的に把握するため、ビデオ撮影による歩行者やタクシーの動向調査を実施するなど、現況や将来計画についての課題を整理したうえで、関係機関との協議に的確に反映した協議資料などを作成した。 以上より、発注者の要求する業務内容が十分に遂行され、高い品質の成果をとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-19

ふりがな 業者名	かぶしがいいしゃかたひらえんじにありんぐ 株式会社片平エンジニアリング		
ふりがな 技術者名	いとう ひろし 伊藤 博	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H22さがみじゅうかんどろしゅうせいせつけいぎょうむ H22さがみ縦貫道路修正設計業務		
履行期限	(自) 平成23年3月23日 (至) 平成23年2月29日		
事務所名	横浜国道事務所		
業務概要	本業務は、横浜国道事務所管内「さがみ縦断道路」の円滑で迅速な事業執行を図るため、排水施設設計、一般構造物設計、図面修正等を行うものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたり、受注者は業務の目的を十分に理解するとともに、各自治体及びNEXCO等関係機関との協議結果を踏まえ、入念な現地調査や過去の設計成果を照査しつつ設計成果に反映させた。 また、排水施設や擁壁等の構造物設計において、狭い施工ヤードでの施工となる厳しい現場条件をクリアしつつ、工事工期の短縮を図る設計を短期間で完了させて円滑な事業執行に貢献した。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-20

ふりがな	かぶしがいいしゃそうごうぎじゅつこんさるたんとうきょうししゃ		
業者名	株式会社総合技術コンサルタント 東京支社		
ふりがな	しのはら しゅうじ	職種	管理技術者
技術者名	篠原 修二		
ふりがな	H22IC・JCTほかせつけいぎょうむ		
業務名	H22IC・JCT他設計業務		
履行期限	(自) 平成23年3月26日 (至) 平成24年3月19日		
事務所名	横浜国道事務所		
業務概要	本業務は、首都圏中央連絡自動車道のIC・JCTにおける橋梁予備設計及び道路予備設計を行うものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、IC・JCT内のJR跨線部における設計委託協議が難航していたが、構造形式の代替提案や、鉄道への影響が少ない施工計画検討を行い、十分な成果を得ることができた。 また、調査職員とともに地元住民に配慮した機能補償道路の検討、設計・施工上の問題点の抽出及び解決策の検討などを積極的に行うなど、本業務の目的を良く理解し、責任を持って業務を遂行した。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-21

ふりがな 業者名	かぶしきがいしゃえいとにほんぎじゅつかいはつ とうきょうししゃ 株式会社エイト日本技術開発 東京支社		
ふりがな 技術者名	きん せい かん 金 聲 漢	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23がいかんせつけいぎょうむ H23外環設計業務		
履行期限	(自) 平成23年8月4日 (至) 平成24年3月25日		
事務所名	東京外かく環状国道事務所		
業務概要	本業務は、東京外かく環状道路(関越～東名)において、経済的かつ合理的な立坑や開削トンネル等の設計等を行うものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、各JCT・IC地区の施工計画検討業務等6社との合同調整会議を行うことにより、早期完成・コスト縮減へ向けた合理的な施工計画の検討・調整を行っている。株式会社エイト日本技術開発は、全線統一のとりまとめ方法に関する提案を行うとともに、多岐にわたる専門技術力により、各JCT・IC間の調整において中心的な役割を果たした。 その結果、早期完成やコスト縮減へ向けた各社独自の工夫を短期間のうちに外環全線へ取り込むことが出来る等、外環全線の施工計画の検討に大きく寄与した。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-22

ふりがな 業者名	やちよえんじにありんぐかぶしきがいしゃ やまなしじむしょ 八千代エンジニアリング株式会社 山梨事務所		
ふりがな 技術者名	いけだ まこと 池田 誠	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23かまなしがわりゅういきさぼうしせつせつけいぎょうむ H23釜無川流域砂防施設設計業務		
履行期限	(自) 平成23年11月2日 (至) 平成24年3月26日		
事務所名	富士川砂防事務所		
業務概要	本業務は、富士川支川の小武川、神宮川及び大武川支川石空川において砂防施設設計として床固群の詳細設計2箇所、既設砂防堰堤の改築設計4基、砂防堰堤の新規予備設計1基を実施したものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、既存施設の現状把握のため入念な現地調査が行われ、施設の劣化状況、基礎の状態、河道の線形及び状況等について把握した上で設計が実施された。特に小武川の床固群については、経年変化の状況や沿川の状況等を網羅し、釜無川との合流線形を検討したうえで設計比較案を作成し、最適かつ効果的な床固群の設計案が提示されるなど優れた業務成果であった。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-23

ふりがな 業者名	かぶしがいいしゃきんだいせつけい 株式会社近代設計		
ふりがな 技術者名	ひらの たけや 平野 猛也	職種	担当技術者
ふりがな 業務名	えいちにじゅうさんどうろぼうさいしんだんとうぎょうむ H23道路防災診断等業務		
履行期限	(自) 平成23年9月29日 (至) 平成24年2月15日		
事務所名	関東技術事務所		
業務概要	本業務は、整備局管内の各国道事務所で実施した道路のり面部、盛土部、擁壁部等の防災点検のカルテを基に、防災対策工の実施状況や対策後の現場状況等についての現地調査の実施と有識者による現地診断を行いカルテの再評価を行うとともに、防災対策箇所の優先度の検討を行ったものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたり、卓越した技術力を発揮し広範囲な調査対象に対しても十分な事前準備の下、的確な業務計画を立て業務を遂行した。特に、複数の関係事務所との協議・調整や有識者による現地診断にあたっては、質が高く解りやすい予備検討資料を迅速に作成し、円滑な協議・調整、現地診断を実施した。また、独自の創意工夫で、防災カルテの利用・更新等が容易になる「防災カルテ利活用支援ツール」の構築を行うなど十分な成果をあげた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-24

ふりがな 業者名	かぶしがいいしゃ にっすいこん どうきょうししょ 株式会社日水コン 東京支所		
ふりがな 技術者名	こいずみ ひろまさ 小泉 浩正	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23しょうわえんないみずじゅんかんせつかいしゅうせつけいぎょうむ H23昭和園内水循環設備改修設計業務		
履行期限	(自) 平成23年9月8日 (至) 平成24年3月26日		
事務所名	国営昭和記念公園事務所		
業務概要	本業務は、国営昭和記念公園における水収支調査から園内の水鳥の池の水位低下要因を季節ごとに把握し、不足する水量について雨水導入エリアの拡張や整備予定地の活用による補給可能性についての検討を行うとともに、水循環設備及び水質浄化設備の改修基本設計、実施設計を行ったものである。		
表彰理由	本業務の実施にあたっては、来園者状況に伴う水需要や水修景、灌水状況など業務の目的や内容を十分に理解し、現地調査やヒアリング調査に基づく的確な検討・設計を実施した。更に、業務途中で判明した検討上不足するデータについても追加調査の提案により必要なデータ収集を図るなど、的確な業務が遂行され、効果的で安定的な水確保の成果を収めたものである。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-25

ふりがな	かぶしきがししゃおりえんたるこんさるたんつ さいたまじむしょ		
業者名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 埼玉事務所		
ふりがな	しだやま ともひろ	職種	管理技術者
技術者名	志田山 智弘		
ふりがな	かんとうかんないどうろねっとわーくきそけんとうぎょうむ		
業務名	関東管内道路ネットワーク基礎検討業務		
履行期限	(自) 平成23年9月27日 (至) 平成24年3月21日		
事務所名	道路部		
業務概要	本業務は、管内の地域高規格道路等について、広域地域の課題整理、課題に応じた多様な評価指標の整理を行い、今後の整備のあり方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、首都圏を抱える大都市圏と地方部が混在する関東地域における広域的かつ複雑な交通状況を的確に分析し、状況に応じた多様な評価指標の整理を実施し、多角的な検討を行った。 また、平成23年12月に発表された「高速道路のあり方検討有識者委員会 中間とりまとめ」を踏まえた関東管内の交通状況を整理することが必要であり、限られた期間に迅速かつ正確に検討を行い、適正な工程管理のもと、履行期間内に業務を完了させ、成果の品質も高く評価できるものであった。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-26

ふりがな	かぶしきかいしゃさとうそうごうけいかく		
業者名	株式会社佐藤総合計画		
ふりがな	せきの ひろゆき	職種	主任担当技術者
技術者名	関野 宏行		
ふりがな	ひらつかししんちょうしゃ・ひらつかだい2ちほうごうどうちようしゃいったいてきせいび(かしょう)せつけいぎょうむ		
業務名	平塚市新庁舎・平塚第2地方合同庁舎一体的整備(仮称)設計業務		
履行期限	(自) 平成21年3月7日 (至) 平成23年9月30日		
事務所名	営繕部		
業務概要	本業務は「平塚市庁舎・平塚第2地方合同庁舎」の設計業務である。 ＜対象施設＞ 建築面積6, 220㎡ 延べ面積30, 713㎡ 構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造8階 地下2階		
表彰理由	地方公共団体と国との合築整備は先行事例が少なく、設計過程における業務機能の整理や関係者調整はこれまでにない困難を伴う業務であった。 具体的には、平塚市と国の業務機能を確認し、相互の連携を考慮した施設ボリュームの設定や、既存市庁舎を利用しながらの建替計画の立案、膨大な検討に基づく区分所有計画など、通常業務とは異なる特殊な条件に柔軟且つ適切に対応した完成度の高い設計内容となっている。 以上の理由により、本業務を推薦するものである。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-27

ふりがな	かぶしがいいしゃちょうだい ひがしかんとうしてん		
業者名	株式会社長大 東関東支店		
ふりがな	ばんの ともや	職種	管理技術者
技術者名	阪野 智也		
ふりがな	ひがしかんとうじどうしゃどうみとせんだうろよびしゅうせいせつけいほかぎょうむ23しい1		
業務名	東関東自動車道水戸線道路予備修正設計他業務23C1		
履行期限	(自) 平成23年7月20日 (至) 平成24年3月30日		
事務所名	常総国道事務所		
業務概要	本業務は、常総国道事務所管内の東関道水戸線(潮来～鉾田)において、既往成果の検討結果を踏まえ、機能性、経済性を考慮した視点で見直した縦断線形に基づく縦横断の修正設計及びIC予定地の土地有効活用検討を行うとともに、関係機関協議用の資料を作成する業務である。		
表彰理由	修正設計の履行にあたっては、走行シミュレーションを利用して平面線形と縦断線形の組み合わせを検討、また、切土・盛土量のバランスに配慮し土工量の低減を検討するなどの有用な提案があった。また、IC予定地の有効活用検討では、予定地の周辺状況や地形状況を把握するとともにIC活用事例を調査し、当該地域に相応しい土地利用のあり方が提案された。併せて、関係機関と十分な調整を行い、意向を良く把握した適切な提案がなされた。 管理技術者の阪野智也氏は、業務の目的と内容を十分理解把握し、適切な統率力・指導力と高度な技術力を活かし、また、迅速な合意形成及び意思決定により本業務の成果をとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-28

ふりがな 業者名	へいわふいーどかぶしがいいしゃ 平和フィールド株式会社		
ふりがな 技術者名	おおはし まさひさ 大橋 正尚	職種	主任担当者
ふりがな 業務名	H23あきやまがわちくていようちちようさとうぎょうむ(その2) H23秋山川築堤用地調査等業務(その2)		
履行期限	(自) 平成23年10月18日 (至) 平成24年3月21日		
事務所名	渡良瀬川河川事務所		
業務概要	本業務は、渡良瀬川下流改修工事所要用地取得に伴う、用地測量及び物件調査を行うものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、土地調査に関し、関係する公的機関との調整に向けた事前準備を入念に行い、問題点を把握した上で調整に臨み、積極的に解決策の提案を行って、解決を図った。 境界立会では関係各者との連絡調整を密にし、円滑に滞りなく実施できた。 また、物件調査に関し、特殊な物件の調査方法等について経験に基づいた適切な提案を行い、実態に即した調査報告ができている。 なお、成果品についても活用しやすくまとめられている。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-29

ふりがな 業者名	かぶしがいいしゃいとにほんぎじゅつかいはつ とうきょうししゃ 株式会社エイト日本技術開発 東京支社		
ふりがな 技術者名	きん せいかん 金 聲漢	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H22あらかわきょうりょうぶちくていけんとうぎょうむ H22荒川橋梁部築堤検討業務		
履行期限	(自) 平成22年10月23日 (至) 平成23年11月30日		
事務所名	荒川上流河川事務所		
業務概要	本業務は、鋭意事業中であるさいたま築堤事業区間内の橋梁横断箇所に関して、堤防の機能を有するとともに、経済的かつ早期の効果発現が得られる堤防の嵩上げ方法について検討を行うものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、検討対象箇所が複数にわたり、現地条件も異なること、全国的にも対策事例が少なく橋梁管理者等関係機関との協議に時間を要する事が想定されたため、工程管理が重要な要素であった。 管理技術者は、地質・河川等各分野の担当者との調整、課題抽出や解決方法を整理したうえでの適切な時期の打ち合わせなど、計画的かつ円滑に業務を遂行した。検討項目についても、丁寧な過去資料の収集や現地調査、コスト縮減を念頭とした複数案の比較検討、今後の詳細設計のための申し送り事項の整理など、業務に取り組む積極性が高く評価できる。また、成果品についても図表を用いるなどわかりやすく整理されており優れた品質であった		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-30

ふりがな 業者名	やちよえんじにやりんぐかぶしがいいしゃ かんとうせんたー 八千代エンジニアリング株式会社 関東センター		
ふりがな 技術者名	とたに なほこ 戸谷 奈穂子	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	へいせい23ねんどおおみやこくどうろうくうかんけんとうぎょうむいたく 平成23年度大宮国道道路空間検討業務委託		
履行期限	(自) 平成23年8月2日 (至) 平成24年3月31日		
事務所名	大宮国道事務所		
業務概要	一般国道17号熊谷地区における歩道のバリアフリー化、自転車通行環境整備、景観整備にあたり、道路空間の再配分も含めた検討を行った。 上記検討を行うために設置した「熊谷市道路空間整備推進委員会」の事務運営、問題点把握及び基礎資料の作成を行った。		
表彰理由	本業務では、国・県警・県・市・地元が一体となって、課題の抽出及び共有化を図り、『熊谷市道路空間整備方針』をとりまとめたものである。 本業務の履行にあたり、熊谷市が策定した総合振興計画、都市計画マスタープラン、環境基本計画等の関連方針を詳細に調査し、これらとの整合性を考慮しつつ、バリアフリー整備・自転車走行環境整備・景観整備の三位一体となった分析を実施し、的確な提案を行った。 また、自転車道やバリアフリーに関する豊富な経験を持つ技術者陣を充てると共に、適切な人員配置を確保し、円滑な業務の目的達成に向けて優れた技術とマネジメント管理が行われた。		

ふりがな 業者名	はしふいっくこんさるたんつかぶしがいいしゃ しゅとけんほんしゃ パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏本社		
ふりがな 技術者名	かねこ すぐる 金子 傑	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H24いばらきけんおうどうごかちくきょうりょうしょうさいせつけいぎょうむ H24茨城圏央道五霞地区橋梁詳細設計業務		
履行期限	(自) 平成23年 5月28日 (至) 平成24年 2月29日		
事務所名	北首都国道事務所		
業務概要	本業務は、圏央道五霞IC内の2橋梁について、橋梁予備設計の資料及び架橋地点の地形、地質等各種条件に基づき、施工性、経済性、維持管理、等総合的に検討を加え、工事に必要な設計を行うものである。		
表彰理由	当該業者からの提案により、設計対象橋梁だけでなく五霞IC全体計画を対象とした設計VEを実施、機能を確保・向上させつつコストを縮減させる有効な代替案が取りまとめられた。 また、本業務の実施過程において五霞ICが当初計画の暫定2車線から完成4車線での整備へ計画変更となり、急遽生じたIC関連施設の追加・修正設計及び完成4車線整備時のIC全体の施工計画について、必要な体制を整え迅速に対応し、履行期限内に良好な成果を取りまとめることが出来た。		

ふりがな 業者名	やちよえんじにやりんぐかぶしがいしゃ ちばじむしょ 八千代エンジニアリング株式会社 千葉事務所		
ふりがな 技術者名	やまかわ えいいち 山川 英一	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	こくどう6ごう・16ごうかしわしゅうへんちくじゅうたいたいさくけんとうぎょうむ23えふ5 国道6号・16号柏周辺地区渋滞対策検討業務23F5		
履行期限	(自) 平成23年8月23日 (至) 平成24年3月23日		
事務所名	千葉国道事務所		
業務概要	本業務は、DSRCプローブデータを活用することにより、柏周辺地区の国道6号・16号の渋滞発生状況を詳細に検証し、交通実態を踏まえた渋滞対策の検討及び対策結果の検証を行うものである。		
表彰理由	本業務においては地域生活圏の交通移動実態を把握するため、GPS搭載の携帯端末を利用し、柏市内における多様な交通移動実態を把握するとともに、今後の交通移動実態調査の展開方法について、簡潔かつ分かりやすく整理・分析する等の創意工夫が数多く見受けられた。 また、「ITS世界会議東京2013」に向けた柏ITS推進協議会の取り組みにおいても、東京大学や柏市と連携した交通解析に際し、発注者と綿密な連携のもと速やかに協議資料を取りまとめ、東京大学との合意形成に努めるなど、業務への取組姿勢、成果が他の模範となるものであった。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-33

ふりがな 業者名	かぶしがいしゃけんせつかんきょうけんきゅうじょ 株式会社建設環境研究所		
ふりがな 技術者名	とみた くにひろ 富田 邦裕	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23みやがせだむかりゅうかんきょうちようさぎょうむ H23宮ヶ瀬ダム下流環境調査業務		
履行期限	(自) 平成23年8月2日 (至) 平成24年3月23日		
事務所名	相模川水系広域ダム管理事務所		
業務概要	本業務は、宮ヶ瀬ダム下流中津川の河川環境を改善させることを目的として、土砂還元試験の効果に関する調査を行う。		
表彰理由	本業務は、宮ヶ瀬ダム下流中津川の土砂還元試験の、土砂還元後の物理的な土砂移動の実態、及び付着藻類の剥離効果に関する分析を行うことを目的としており、実施にあたっては顕微鏡を用いた詳細な剥離段階の状態観察の精度が高く、さらに水中撮影も用いて各段階の状況も把握し、また専門家にもヒアリングを行うなど、積極的に業務を遂行し各段階からの変遷過程で高い分析力を発揮した。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-34

ふりがな 業者名	かぶしがいしゃおりえんたるこんさるたんつ かながわじむしょ 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 神奈川事務所		
ふりがな 技術者名	しだやま とむひろ 志田山 智弘	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	へいせい23ねんど かわさきりんかいちいきどうろせいびけいかくけんとうぎょうむ 平成23年度 川崎臨海地域道路整備計画検討業務		
履行期限	(自) 平成23年9月8日 (至) 平成24年3月23日		
事務所名	川崎国道事務所		
業務概要	今後の道路施策検討の基礎資料として、川崎市川崎区を中心とする川崎臨海地域の道路整備計画の検討を行ったものである。		
表彰理由	当該業者は、国道357号の事業計画の検討にあたっては、将来の交通流動、防災、物流、地域ニーズについての的確な分析評価を、多くのケースで行い、その結果についても簡潔かつわかりやすくまとめる等の創意工夫が見られた。 また、国道15号の自転車道改善検討では、ビデオ調査やWEBアンケートなどを積極的に提案して実施し、現状の自転車道の課題を詳細に把握して改善策を提案するなど、限られた期間の中で、発注者の意図する実施内容を深く理解して対応し、十分な成果をまとめることができた。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-35

ふりがな 業者名	かぶしがいしゃふくやまこんさるたん ひがしにほんじぎょうぶ 株式会社福山コンサルタント 東日本事業部		
ふりがな 技術者名	おおつか のぶあき 大塚 宣昭	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	へいせい23ねんどしんやまなしかんじょうどうろかんきょうえいきょうひょうかちょうさ 平成23年度新山梨環状道路環境影響評価調査業務		
履行期限	(自) 平成23年5月12日 (至) 平成24年3月30日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
業務概要	本業務は、都市計画決定手続き中である新山梨環状道路北部区間(L=17km)において、環境影響評価法に基づく準備書(事業者案)の作成を行ったほか、技術検討委員会の運営及び住民説明会等の補助を行ったものである。		
表彰理由	本業務の履行にあたり、環境影響評価準備書の作成にあたり、豊富な知見及び高い技術力に基づいた適切な予測・評価がなされた。 また、各種委員会等における指摘・意見に対する回答案作成を迅速かつ的確に行い、円滑な環境影響評価手続きを行うことが出来た。 さらに、業務実施上の課題を適切に把握し、十分に検討された分かり易い資料により、発注者との意思疎通に努め、余裕をもって工期内に業務を完了させた。 以上のことから、本業務は当該業者及び技術者の専門技術力、管理技術力により新山梨環状道路事業の進捗に寄与した業務であった。		

優良業務及び優秀技術者局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号-36

ふりがな 業者名	かぶしがいしゃけんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしゃ 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	のみやま ひさし 野見山 尚志	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23かんないじぎょうせいびこうけんとうぎょうむ H23管内事業整備効果検討業務		
履行期限	(自) 平成23年6月8日 (至) 平成24年3月23日		
事務所名	長野国道事務所		
業務概要	本業務は、長野国道事務所管内の各事業における今後の道路整備計画等の基礎資料を得ることを目的に、将来交通量推計、費用便益算定を行うとともに、整備効果の検討や事業再評価資料の検討などを行った。		
表彰理由	当該業務の履行にあたり、受注者は業務の目的・内容をよく理解したうえ、新たな視点からの提案を行うなど積極的な取り組みがみられた。また、業務遂行中に生じた業務内容の追加についても、全社的な体制のもとで迅速な対応がなされた。 成果品については、簡潔かつ重要な点が理解しやすい的確なとりまとめがされた。		

ふりがな 業者名	いであかふしきかいしゃ いであ株式会社		
ふりがな 技術者名	ひむら まさお 樋村 正雄	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	H23ふたせだむみずげんきょうちようさ(だむこかんきょうきすくせいちようさ)ぎょうむ H23二瀬ダム水辺現況調査(ダム湖環境基図作成調査)業務		
履行期限	(自) 埼玉県秩父市大滝地先 (至)		
事務所名	二瀬ダム管理所		
業務概要	本業務は、二瀬ダム湖及びその周辺において河川水辺の国勢調査(ダム湖版)の調査項目であるダム湖環境基図の作成調査を行うものである。		
表彰理由	本業務は、二瀬ダム湖及びその周辺において河川水辺の国勢調査(ダム湖版)の調査項目であるダム湖環境基図の作成調査を行うものであり、ダム湖及び周辺地域を現地踏査を行い環境基図の作成を行う業務である。 二瀬ダムの湖面及び周辺地域は急峻であり、水位変動も大きいことから調査に当たっては、安全に十分留意して短い期間で行い、また、秩父多摩甲斐国立公園内の特別区域のエリアもあることから、自然公園法内の各種規制を踏まえた上での調査を行うなど、自然環境に対して細心の注意を調査を行う必要があった。 以上の条件を踏まえた上で問題なく成果をまとめた。		

ふりがな 業者名	にほんかいようこんさるたんとかふしきかいしゃ 日本海洋コンサルタント株式会社		
ふりがな 技術者名	かみむら けいすけ 上村 圭介	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	かしまこうおよびいばらきこうさいがいふつきゅうこうじしようさいせつけい 鹿島港及び茨城港災害復旧工事詳細設計		
履行期限	(自) 平成23年4月12日 (至) 平成24年3月16日		
事務所名	鹿島港湾・空港整備事務所		
業務概要	東北地方太平洋沖地震により被災した岸壁及び防波堤等の復旧工事实施のための設計を行うものである。		
表彰理由	東北地方太平洋沖地震により鹿島港及び茨城港の港湾施設は甚大な被害を受け、物流への重大な影響が発生しており、早急に復旧工事の実施が必要な状況である。 一方、復旧工事の実施に必要な検討を行うための、被災した施設の完成当時の資料や被災状況の資料は限られており、限られた情報を最大限に活用して迅速かつ的確に検討を行い、設計図面としてまとめなければならない。 日本海洋コンサルタント株式会社は、限られた情報をもとに創意工夫をもつて的確に本業務の実施にあたった。管理技術者及び担当技術者においては本業務に対して強い使命感が見られ、多くの施設の検討及びとりまとめを迅速に行った。 その結果、復旧工事を早期に開始することができたため、優良業務及び優秀技術者として推薦するものである。		

ふりがな 業者名	かぶしがいしゃにほんこうわんこんさるたん 株式会社日本港湾コンサルタント		
ふりがな 技術者名	かわしま けん 川嶋 憲	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	よこはまこうほんもくちくがんぺき よびせつけい 横浜港本牧地区岸壁(-16m)予備設計		
履行期限	(自) 平成23年12月20日 (至) 平成24年3月23日		
事務所名	横浜港湾空港技術調査事務所		
業務概要	本業務は、横浜港本牧地区において、新たな耐震強化岸壁(-16m)を整備するための予備設計を行ったものである。		
表彰理由	設計対象施設は、供用中のコンテナ専用耐震岸壁に連続して整備する計画となっているが当該整備対象位置は、現在、ふ頭用地となっていることから、既存施設の撤去を前提とした予備設計を実施する必要がある。 本業務の実施にあたり、当該技術者は、採用する構造形式によって既存施設の撤去範囲や施工手順が大きく異なることを考慮して検討を行い、また、既存施設の撤去により発生すると考えられる廃棄物等の有効活用が可能な工法について、構造形式の抽出段階で検討を実施するなど、限られた検討期間の中で優れた技術力・知識を駆使して業務を遂行したことは特に評価できるものである。また、きめ細かい工程管理のもと、工期内に十分な成果が納められている。		